

平成22年度(4)

県政モニター アンケート報告書

テーマ「環境学習」

平成22年12月

も く じ

| | |
|----------------------|----|
| 調査の概要 | 1 |
| 調査結果 | |
| 1 日常生活での実感 | 3 |
| 2 気になっている環境分野 | 5 |
| 3 環境問題の解決方法 | 6 |
| 4 愛知県の環境の情報源 | 8 |
| 5 環境学習施設の認知度 | 10 |
| 6 得たい情報 | 12 |
| 7 情報提供方法 | 14 |
| 8 環境学習活動への参加状況 | 16 |
| 9 実施団体の把握 | 18 |
| 10 重点を置くべき対象 | 20 |
| 11 重点を置くべき世代 | 22 |
| 12 環境学習の効果 | 24 |
| 13 問題点の把握 | 26 |
| 14 今後の取組み | 27 |
| 15 自由意見 | 29 |
| 質問と回答 | 39 |

調査の概要

1 調査のテーマ

環境学習

2 調査の趣旨

生活排水や廃棄物など身近な環境問題から、地球温暖化などの地球環境問題まで、様々な環境問題を解決するためには、私たち一人ひとりが、小さな行動でも環境に大きな影響を与えていることを理解し、環境保全のために行動することが大切です。

愛知県では、平成17年1月に「愛知県環境学習基本方針」を策定し、県民一人ひとりが、環境への関心と理解を深め、自ら環境に配慮しながら、環境問題に取り組むことができる能力を身につけることができるよう、環境学習に関する施策を推進してきました。

そこで、今回のアンケートは、策定後一定期間を経過している「愛知県環境学習基本方針」の見直しの参考とするため、環境問題に関する意識や活動、県の施策の進め方などについて、県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

3 調査対象

県政モニター 497人 (平成22年9月21日現在)

内訳

| 区 分 | 計 | | 名古屋地域 | 尾張地域 | 三河地域 | |
|-------|---------|--------|-------|------|------|----|
| | 人 員 | 構 成 比 | | | | |
| 総 数 | 497人 | 100.0% | 153人 | 187人 | 157人 | |
| 性 別 | 男 性 | 240 | 48.3 | 78 | 89 | 73 |
| | 女 性 | 257 | 51.7 | 75 | 98 | 84 |
| 年 代 別 | 20 代 | 78 | 15.7 | 25 | 28 | 25 |
| | 30 代 | 106 | 21.3 | 31 | 42 | 33 |
| | 40 代 | 92 | 18.5 | 29 | 35 | 28 |
| | 50 代 | 81 | 16.3 | 23 | 32 | 26 |
| | 60 代 以上 | 140 | 28.2 | 45 | 50 | 45 |

4 調査期間

平成22年9月6日から平成22年9月21日まで

5 調査方法

郵送・インターネット (選択)

6 回答者数

481人（回収率96.8%）

【記号・符号・用語の説明】

- (1) N (Number of Cases の略) は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (2) M. T. (Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。(無回答者の数値は含まない。)
- (3) 回答が1つの質問であっても、小数第2位を四捨五入して割合を求めているため、合計が100%にならないことがある。

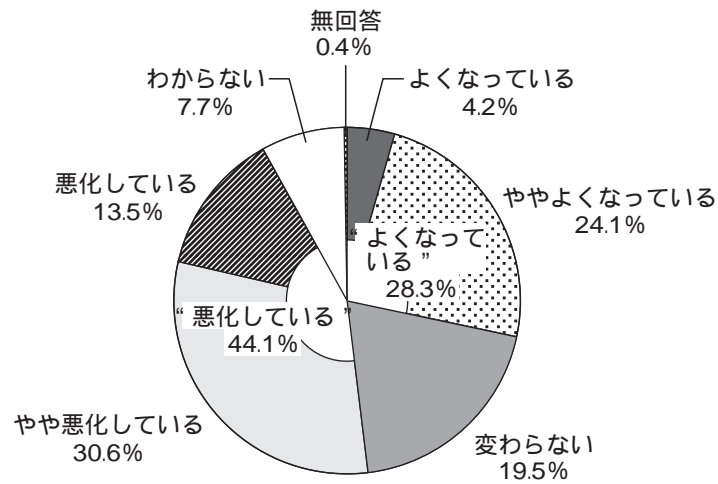
調査結果

1 日常生活での実感

問1 あなたは、過去10年間で愛知県の実感の状況について、どのような実感をお持ちですか。

(回答は1つ)

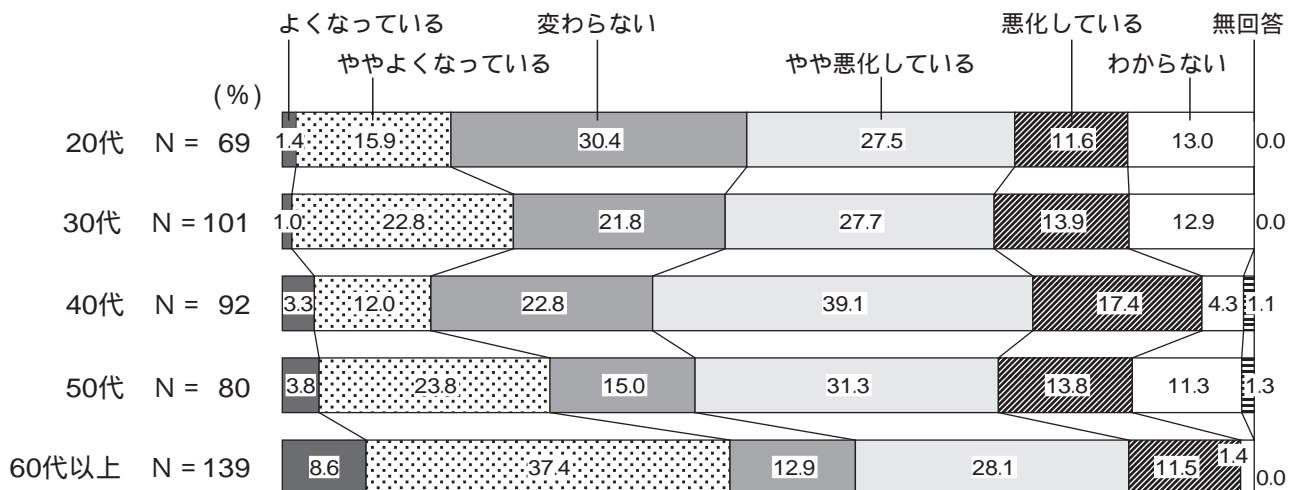
N = 481



過去10年間で愛知県の実感の状況についてどのような実感を持っているか尋ねたところ、「よくなっている」4.2%、「ややよくなっている」24.1%で、合わせた「よくなっている」が28.3%に対し、「やや悪化している」30.6%、「悪化している」13.5%で、合わせた「悪化している」が44.1%となっている。

年代別にみると、「よくなってる」と答えた人の割合は60代以上で最も高くなっている。

(年代別)

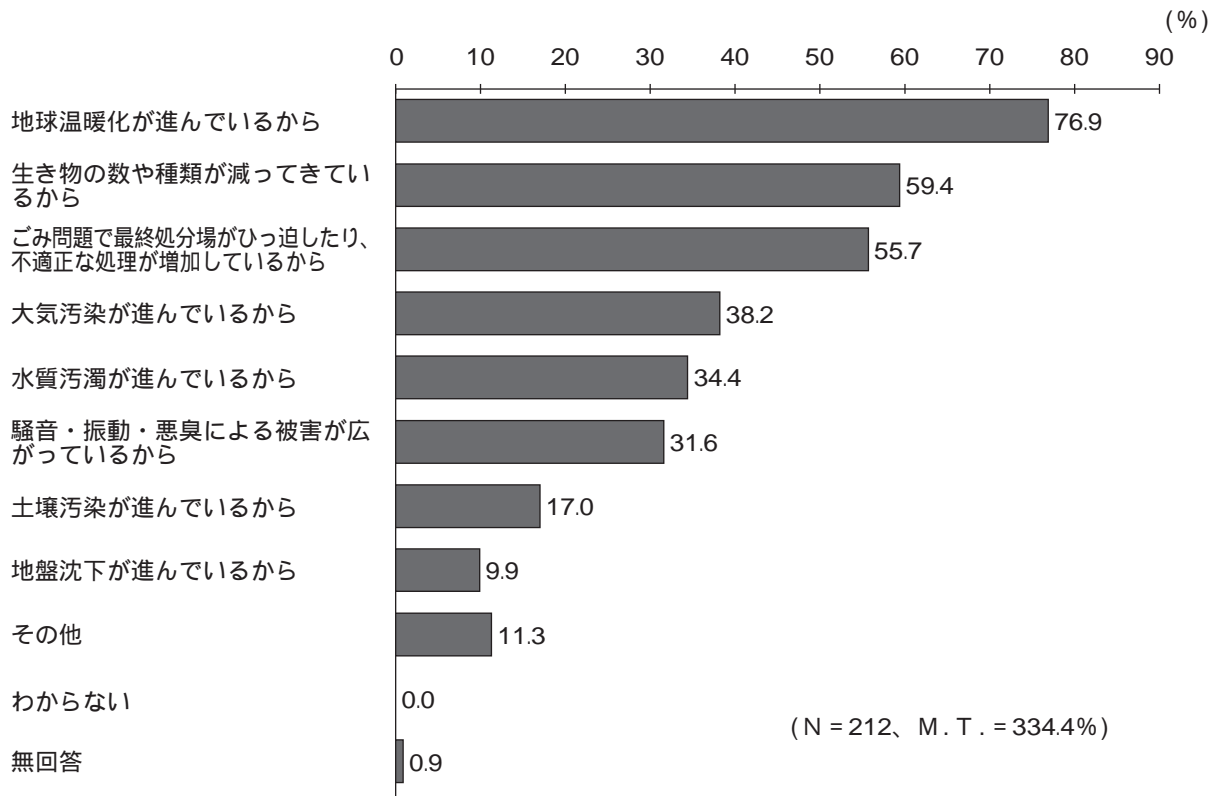


過去10年間の愛知県環境の状況が「わからない」と答えた人の割合が20代・30代で他の年代に比べ高く、若年者の環境に対する関心の低さが懸念されます。

(環境部環境活動推進課)

2 気になっている環境分野

問2 問1で、「4 やや悪化している」または「5 悪化している」と答えた方にお聞きします。
そのようにあなたが感じる理由を選んでください。(回答はいくつでも)



問1で、「4 やや悪化している」または「5 悪化している」と答えた人に、そのように感じる理由を尋ねたところ、「地球温暖化が進んでいるから」が76.9%、「生き物の数や種類が減ってきているから」が59.4%、「ごみ問題で最終処分場がひっ迫したり、不適正な処理が増加しているから」が55.7%、「大気汚染が進んでいるから」が38.2%、などとなっている。

愛知県環境は、「温暖化」「生物多様性」「ごみ問題」の分野で悪化していると感じている方が非常に多く、県民の方々の安心・安全に関わる課題に加えて、地球規模の課題に対する関心の高さを示していると考えられます。

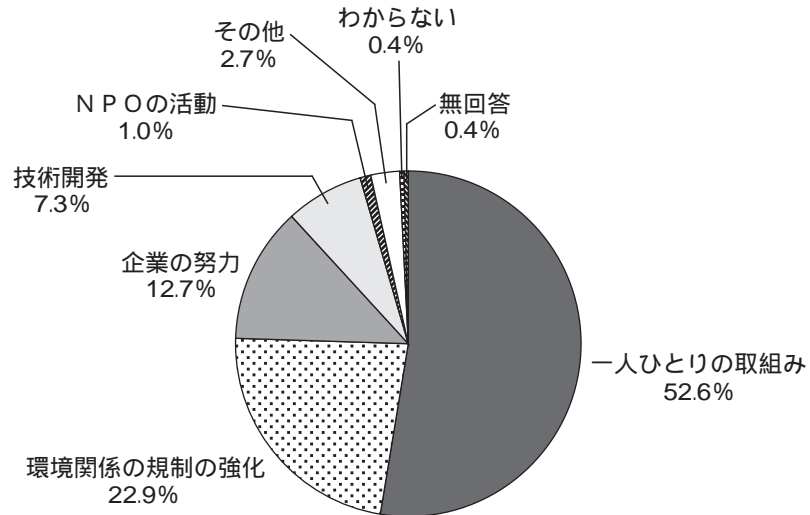
このことは、今後環境学習を進めていく上で参考にさせていただきたいと思います。

(環境部環境活動推進課)

3 環境問題の解決方法

問3 あなたは、環境問題に対応するためには、何が一番必要だと思いますか。(回答は1つ)

N = 481

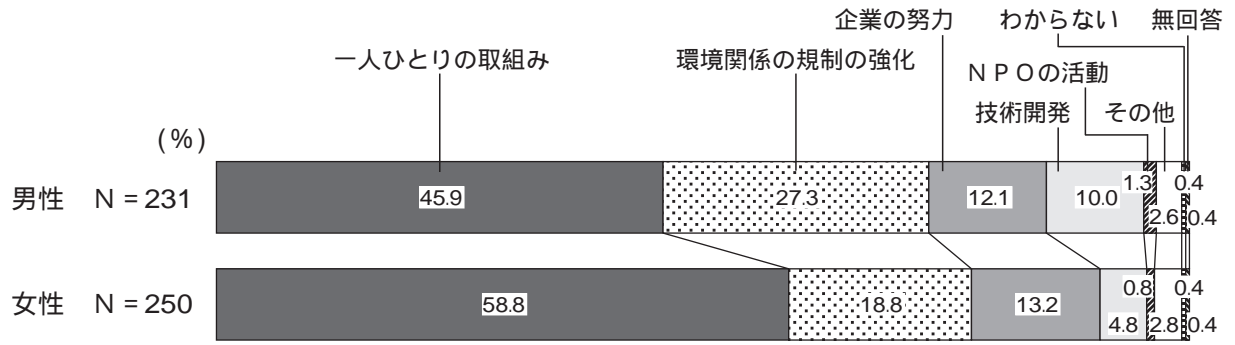


環境問題に対応するためには、何が一番必要だと思うか尋ねたところ、「一人ひとりの取組み」が52.6%、「環境関係の規制の強化」が22.9%、「企業の努力」が12.7%、などとなっている。

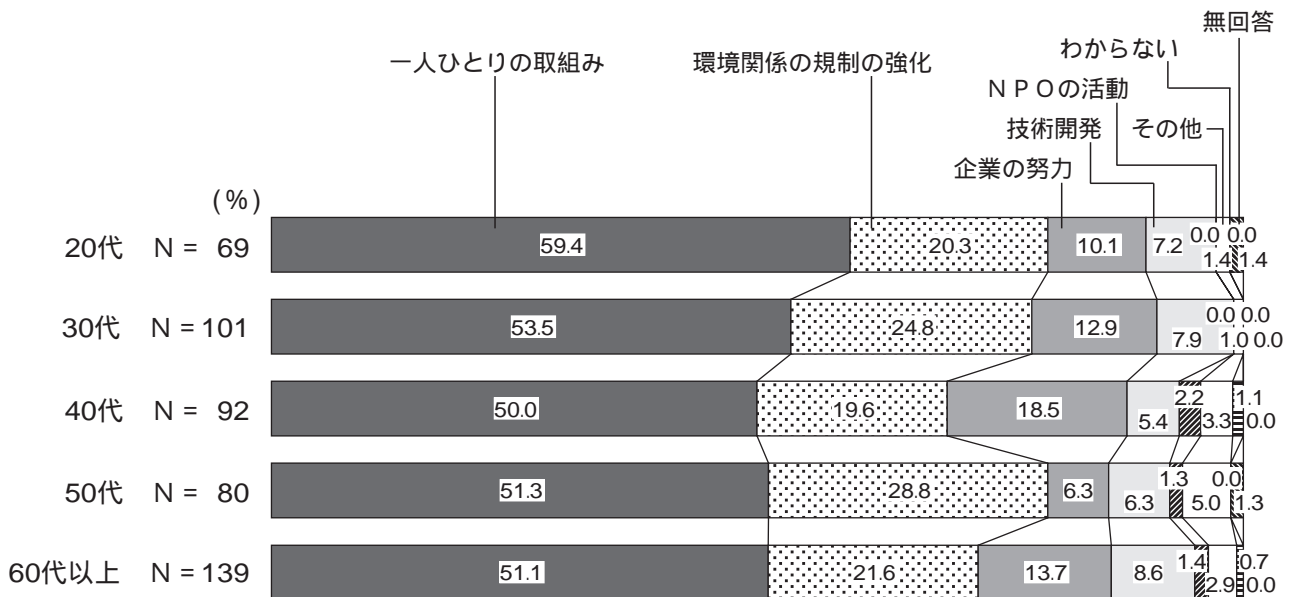
男女別にみると、「一人ひとりの取組み」と答えた人の割合は女性で高くなっている。

年代別にみると、「一人ひとりの取組み」と答えた人の割合は20代で高くなっている。

(男女別)



(年代別)

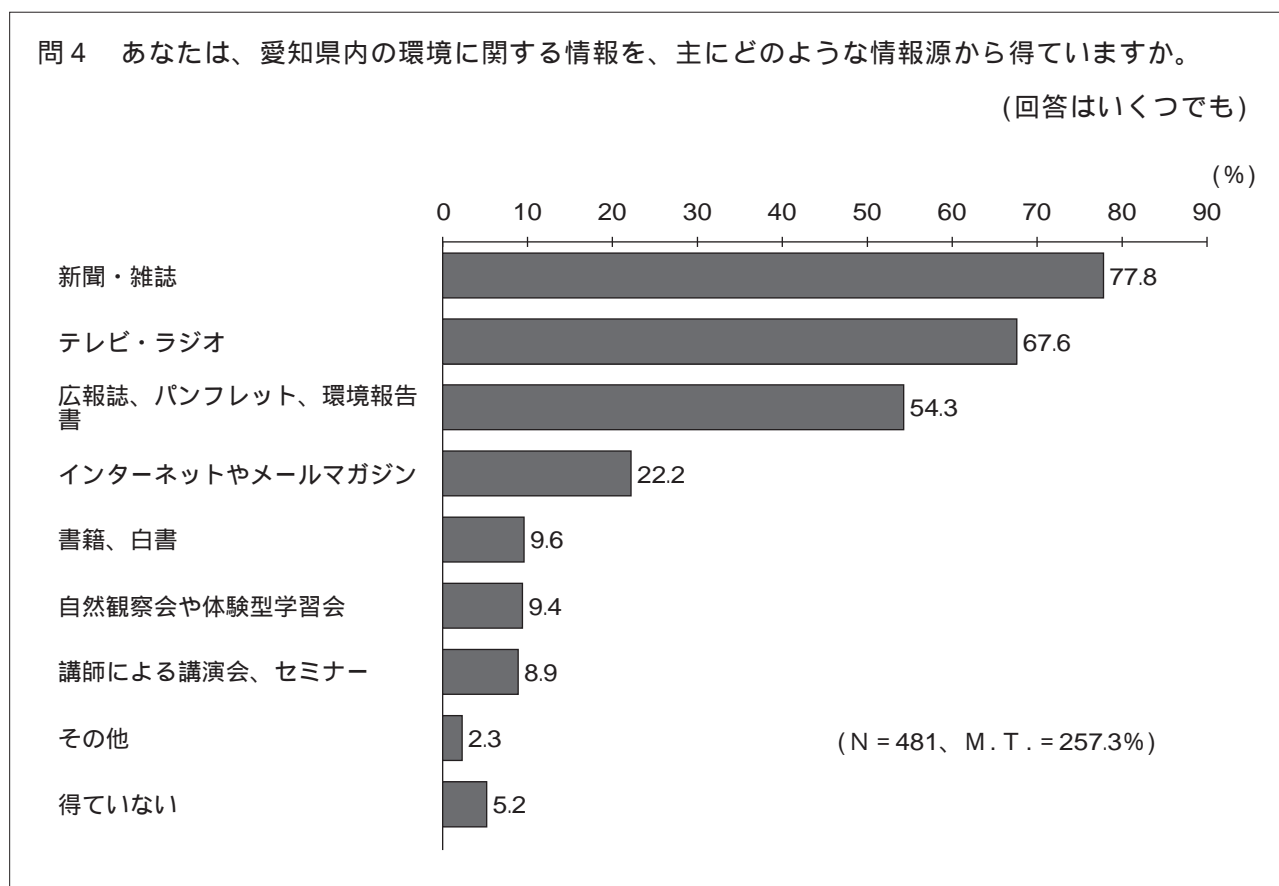


52.6%の方が、環境問題を解決するためには一人ひとりの取組が重要だと考えていました。

愛知県では、県民一人ひとりが、環境保全を理解し、自ら環境に配慮しながら、環境問題に取り組む能力を身につけるため、「愛知県環境学習基本方針」を策定し、環境学習を推進してきました。引き続き適切に環境学習を推進してまいりますので、県民の皆様のご理解と御協力をお願いします。

(環境部環境活動推進課)

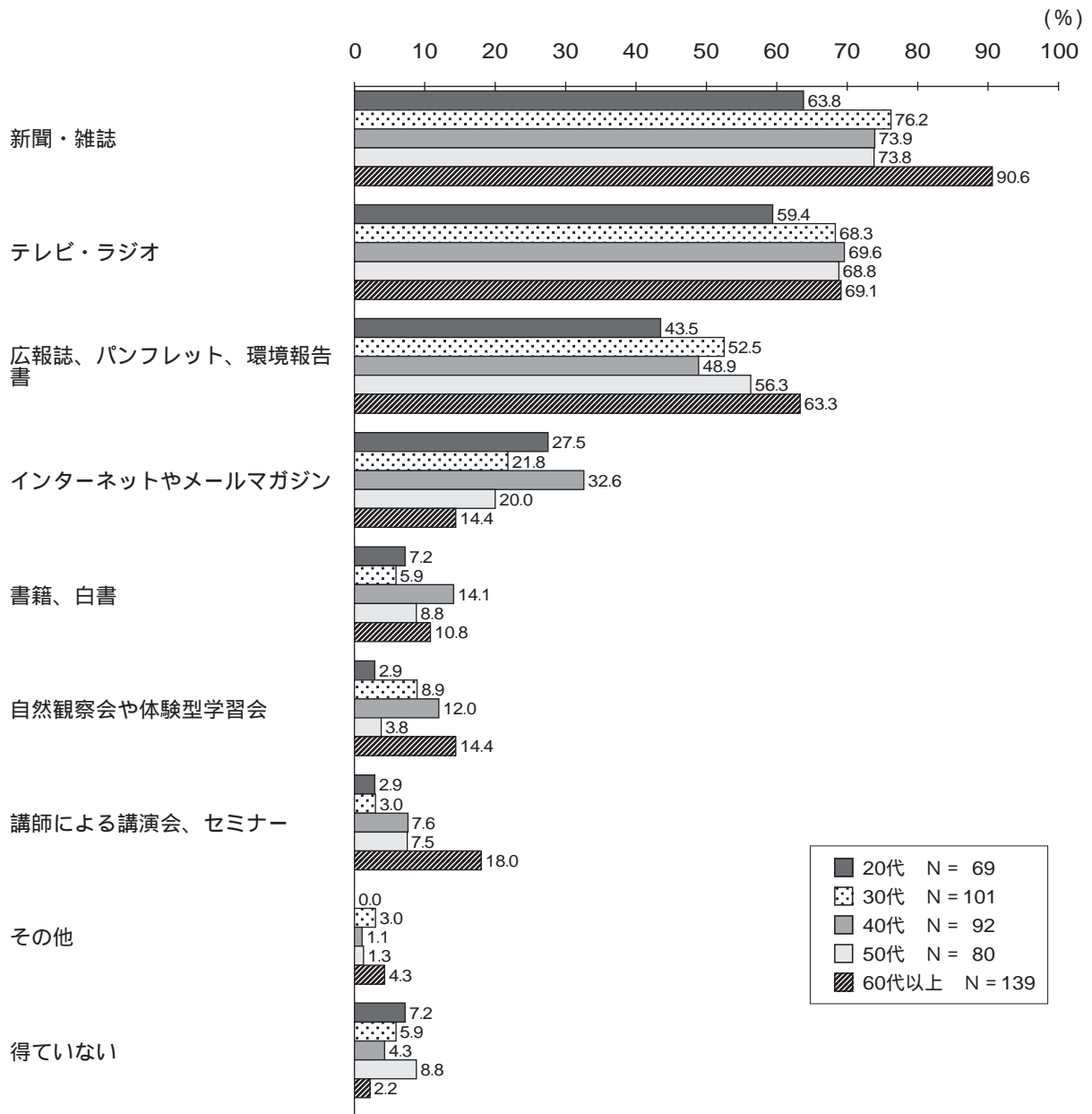
4 愛知県の環境の情報源



愛知県内の環境に関する情報を、主にどのような情報源から得ているかを尋ねたところ、「新聞・雑誌」が77.8%、「テレビ・ラジオ」が67.6%、「広報誌、パンフレット、環境報告書」が54.3%、などとなっている。

年代別にみると、「新聞・雑誌」と答えた人の割合は、すべての年代で最も高くなっているが、特に60代以上では約9割と最も高くなっている。

(年代別)

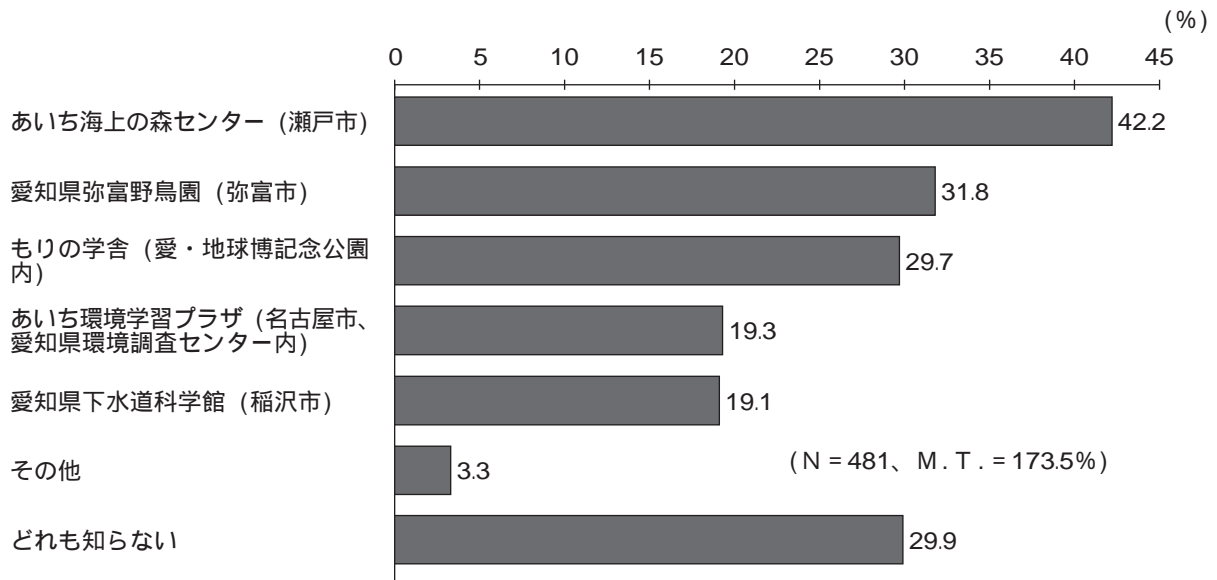


愛知県の実環境情報の主な情報を、新聞・テレビなどマスコミから入手している県民の方が多い反面、インターネットを始め自ら情報の収集を行う必要がある情報源から得ているとする回答が少ない傾向が表れています。今後はこれらを組み合わせるなど効果的な情報発信を行っていく必要があると考えています。

(環境部環境活動推進課)

5 環境学習施設の認知度

問5 あなたは、次の愛知県内の環境学習展示施設の内どれを知っていますか。また、これら以外でご存じの施設があれば、その他に記入してください。(回答はいくつでも)

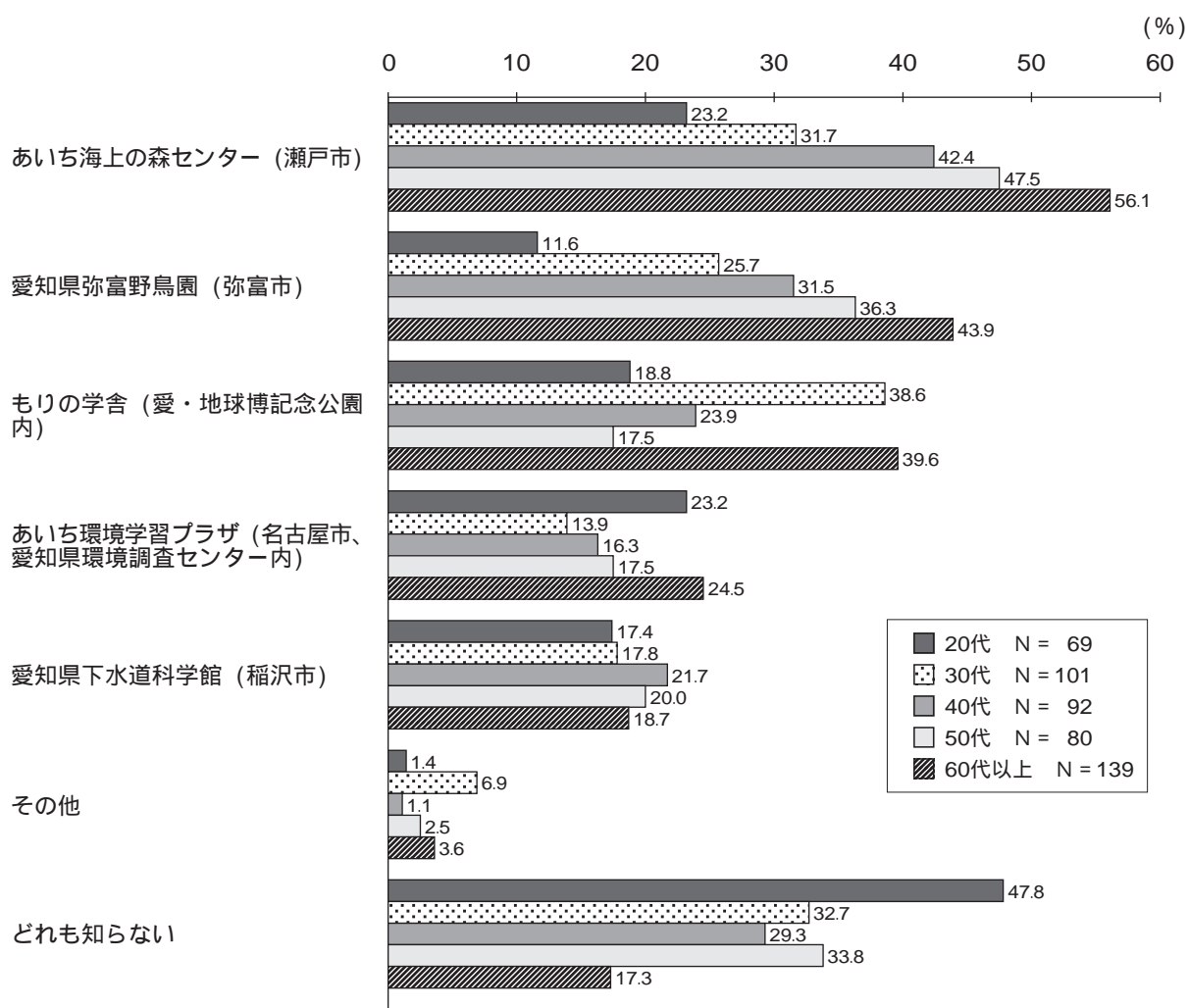


愛知県内で知っている環境学習展示施設を尋ねたところ、「あいち海上の森センター (瀬戸市)」が42.2%、「愛知県弥富野鳥園 (弥富市)」が31.8%、「もりの学舎 (愛・地球博記念公園内)」が29.7%、などとなっている。

一方、「どれも知らない」と答えた人の割合は29.9%となっている。

年代別にみると、「あいち海上の森センター (瀬戸市)」、「愛知県弥富野鳥園 (弥富市)」と答えた人の割合は年代が上がるほど高くなっている。また、どれも知らないと答えた人の割合は20代で最も高くなっている。

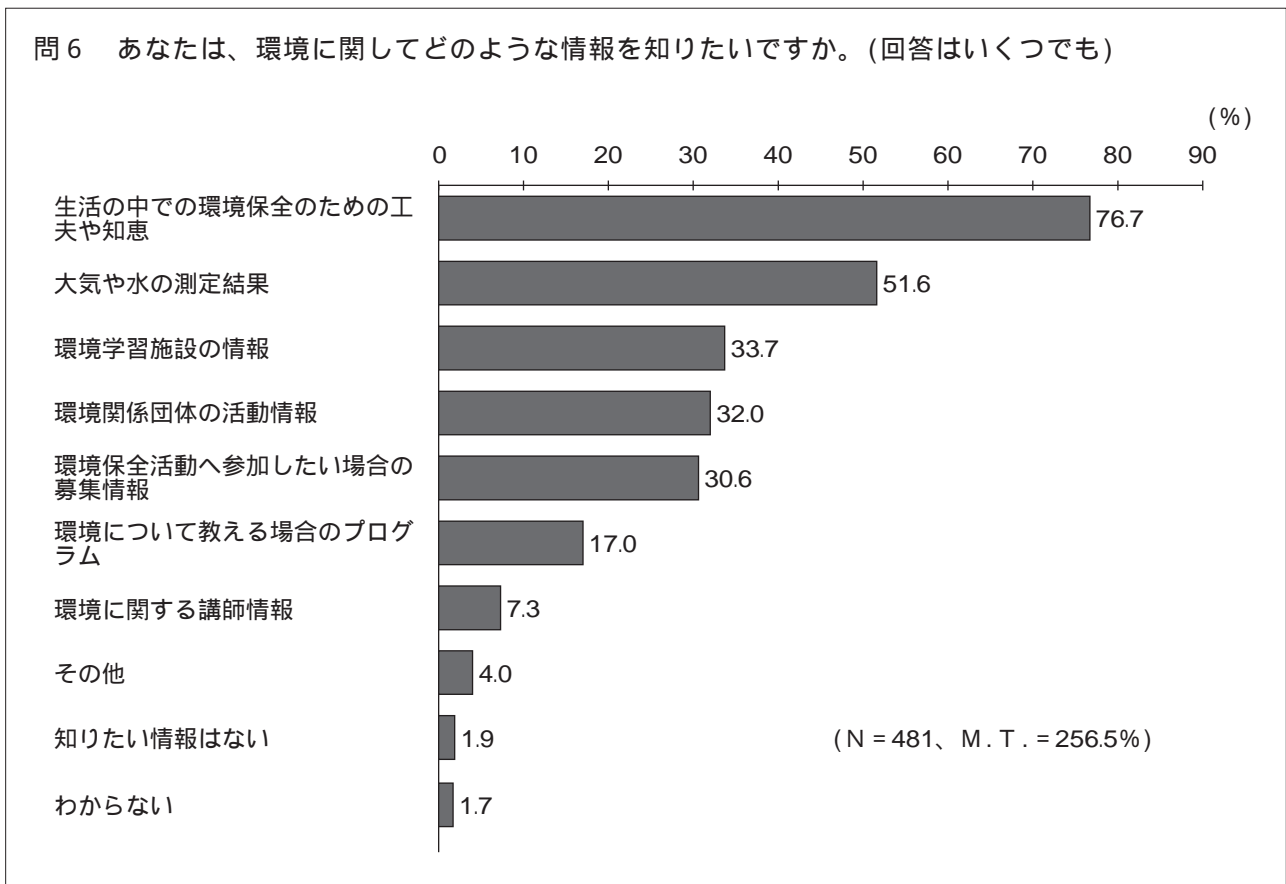
(年代別)



環境学習施設を「どれも知らない」と答えた方は、60代以上では17.3%であったものの、年代が下がるほど比率が上昇する傾向にあります。今後は若い方々へ、環境学習施設を周知していくことが課題となっていると認識しました。

(環境部環境活動推進課)

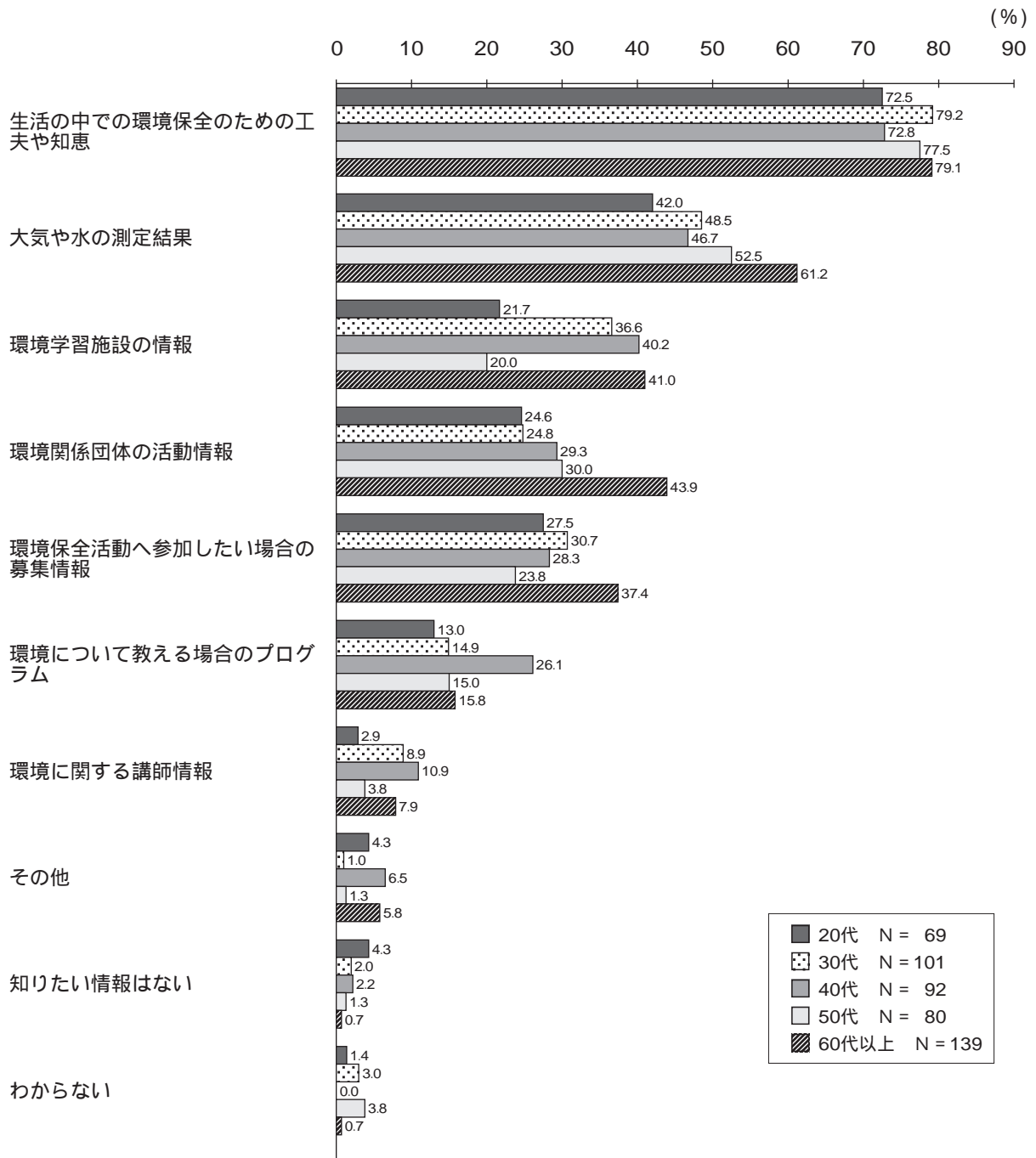
6 得たい情報



環境に関してどのような情報を知りたいか尋ねたところ、「生活の中での環境保全のための工夫や知恵」が76.7%、「大気や水の測定結果」が51.6%、「環境学習施設の情報」が33.7%、などとなっている。

年代別にみると、「大気や水の測定結果」と答えた人の割合は、概ね年代が上がるほど高くなっている。

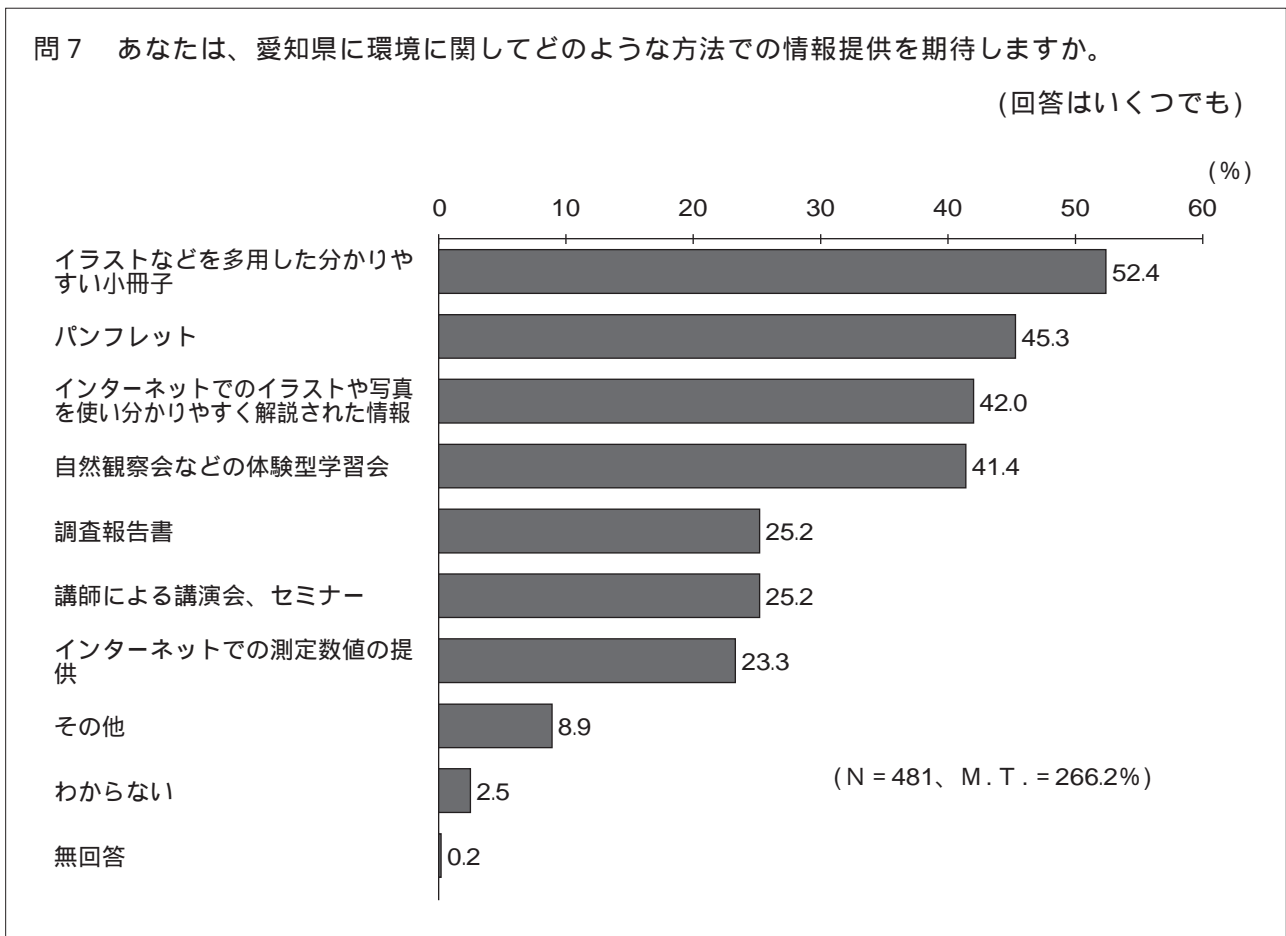
(年代別)



76.7%の方が「生活の中での環境保全のための工夫や知恵」について知りたいと回答しており、今後生活の中で活かしながら実行できる環境保全に役立つ工夫や知恵について、どのように情報提供していくかが課題と考えられます。

(環境部環境活動推進課)

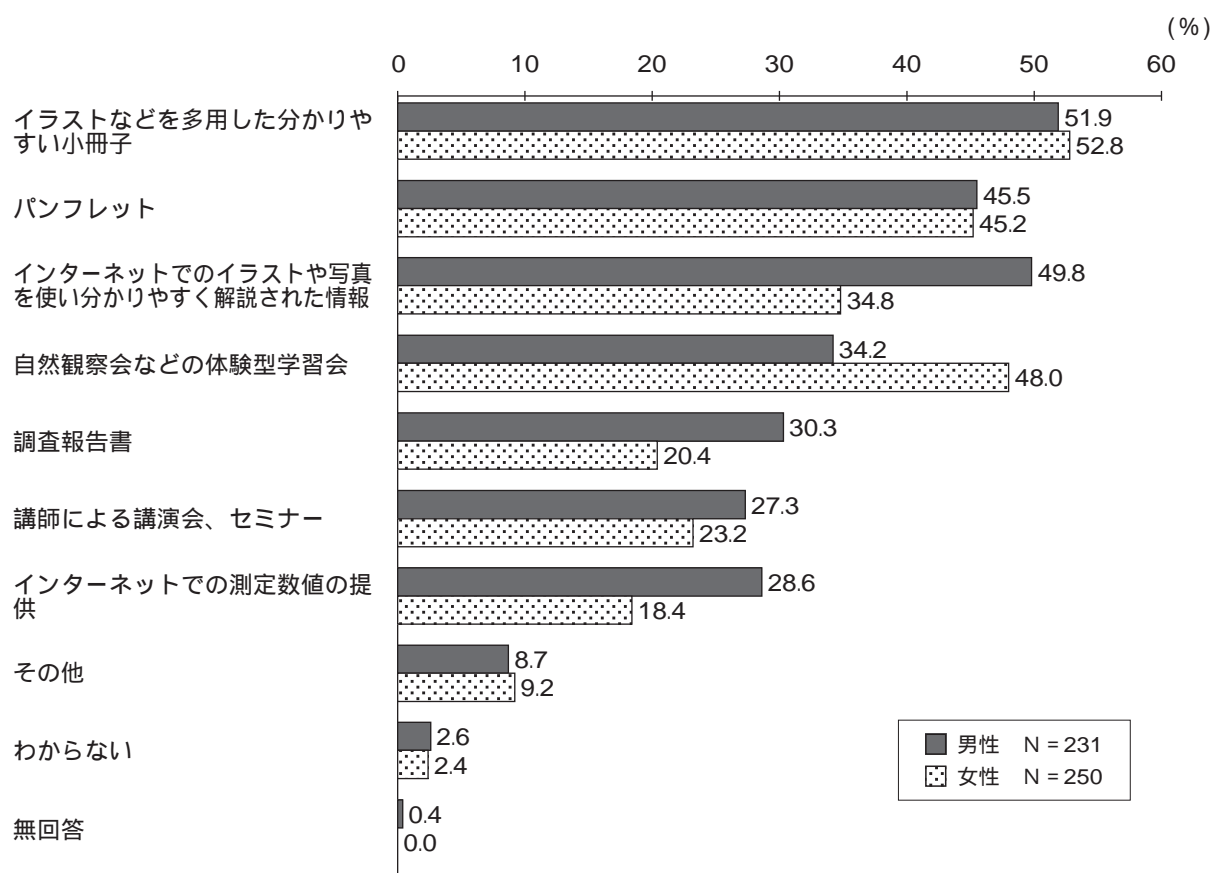
7 情報提供方法



愛知県に環境に関してどのような方法での情報提供を期待するか尋ねたところ、「イラストなどを多用した分かりやすい小冊子」が52.4%、「パンフレット」が45.3%、「インターネットでのイラストや写真を使い分かりやすく解説された情報」が42.0%、「自然観察会などの体験型学習会」が41.4%、などとなっている。

男女別にみると、「インターネットでのイラストや写真を使い分かりやすく解説された情報」、「調査報告書」、「インターネットでの測定数値の提供」と答えた人の割合は男性で高く、一方、「自然観察会などの体験型学習会」と答えた人の割合は女性で高くなっている。

(男女別)

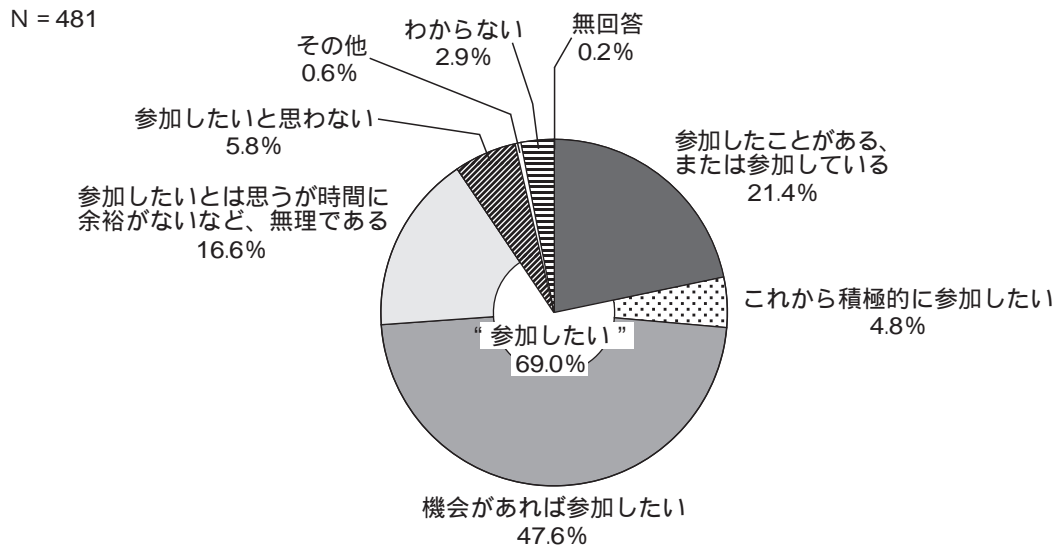


「イラストを多用した分かりやすい小冊子」や「パンフレット」などの従来の紙を媒体とした方法に加え、インターネットや体験型学習会など分かりやすい形で情報が提供されることを期待する回答が多数ありました。環境問題は、難解になりがちですが、より分かりやすい形で情報を提供できるよう努力していきたいと考えています。

(環境部環境活動推進課)

8 環境学習活動への参加状況

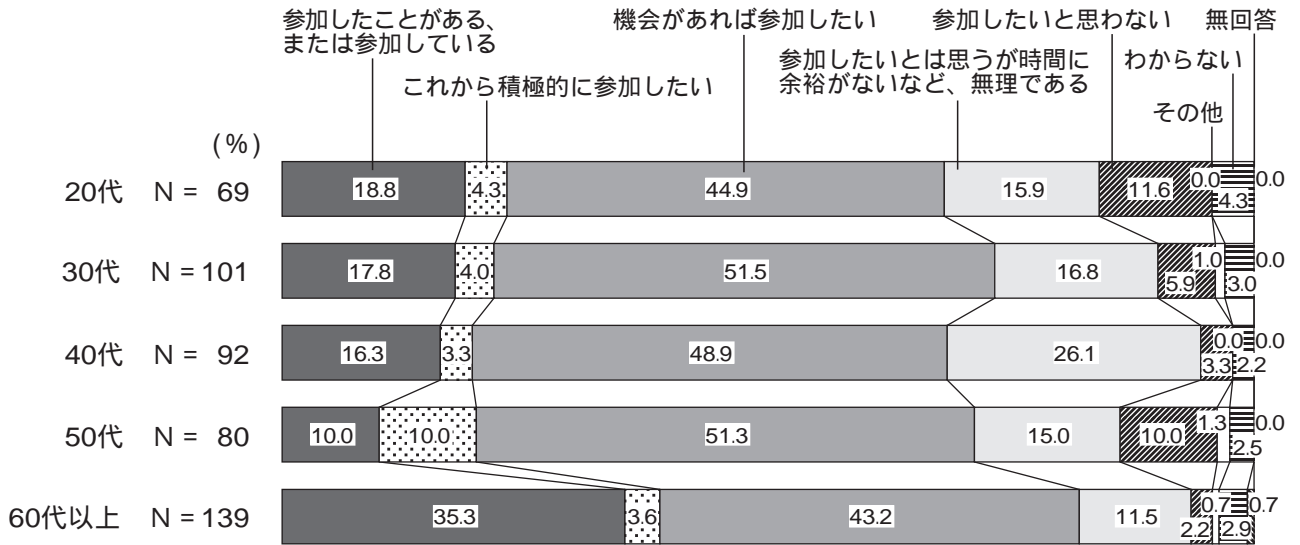
問8 あなたは、環境に関する知識や活動方法を学ぶ環境学習活動に参加したことがありますか。または、参加したいと思いますか。(回答は1つ)



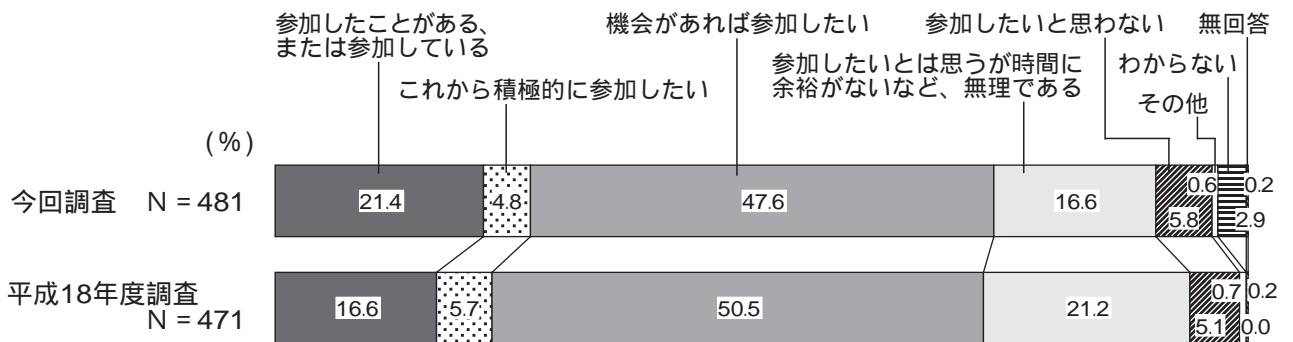
環境に関する知識や活動方法を学ぶ環境学習活動に参加したことがあるか。または、参加したいと思いますか尋ねたところ、「参加したことがある、または参加している」が21.4%、「これから積極的に参加したい」4.8%、「機会があれば参加したい」47.6%、「参加したいとは思いますが時間に余裕がないなど、無理である」16.6%で、合わせた「参加したい」が69.0%、「参加したいと思わない」が5.8%、などとなっている。

年代別にみると、「参加したことがある、または参加している」と答えた人の割合は60代以上で最も高くなっている。

(年代別)



(環境学習活動への参加状況 (時系列比較))



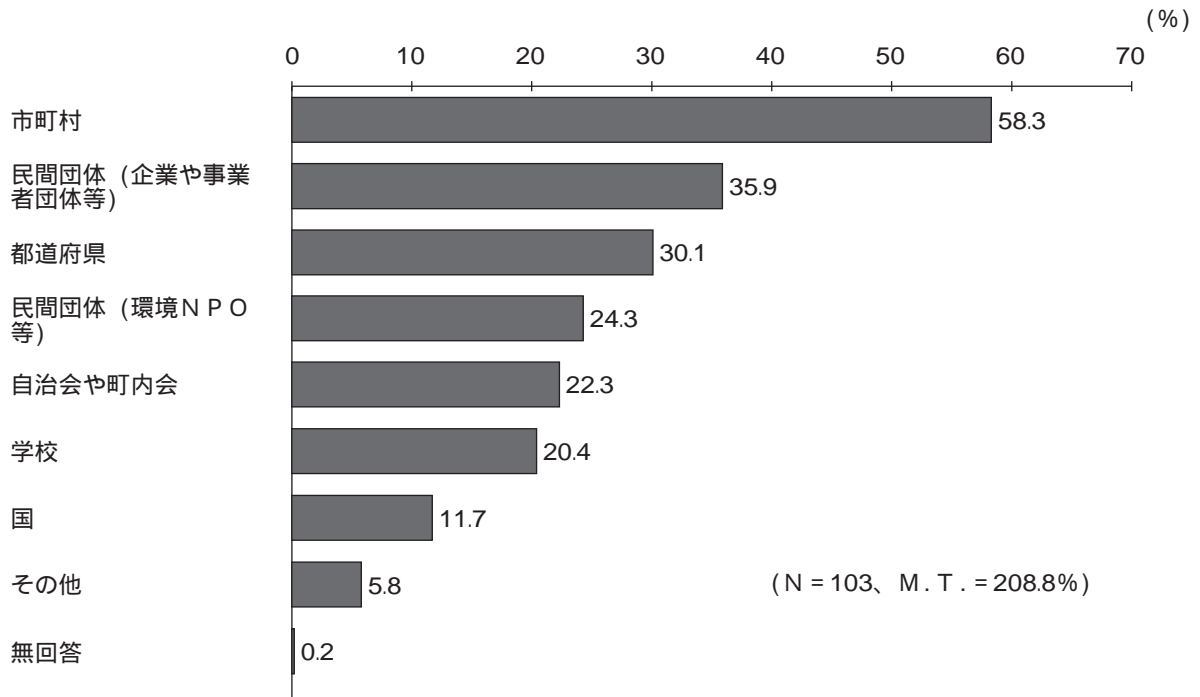
平成18年9月の県政モニターアンケートと比較すると、「参加したことがある、または参加している」が16.6%から21.4%に増加し、「参加したいと思うが時間に余裕がないなど、無理である」は、21.2%から16.6%へと減少しました。

愛知県では、環境学習活動への参加を推進してまいりましたが、機会があれば参加したいという方が47.6%あり、今後とも環境学習への参加の機会の増加を図っていきたいと考えています。

(環境部環境活動推進課)

9 実施団体の把握

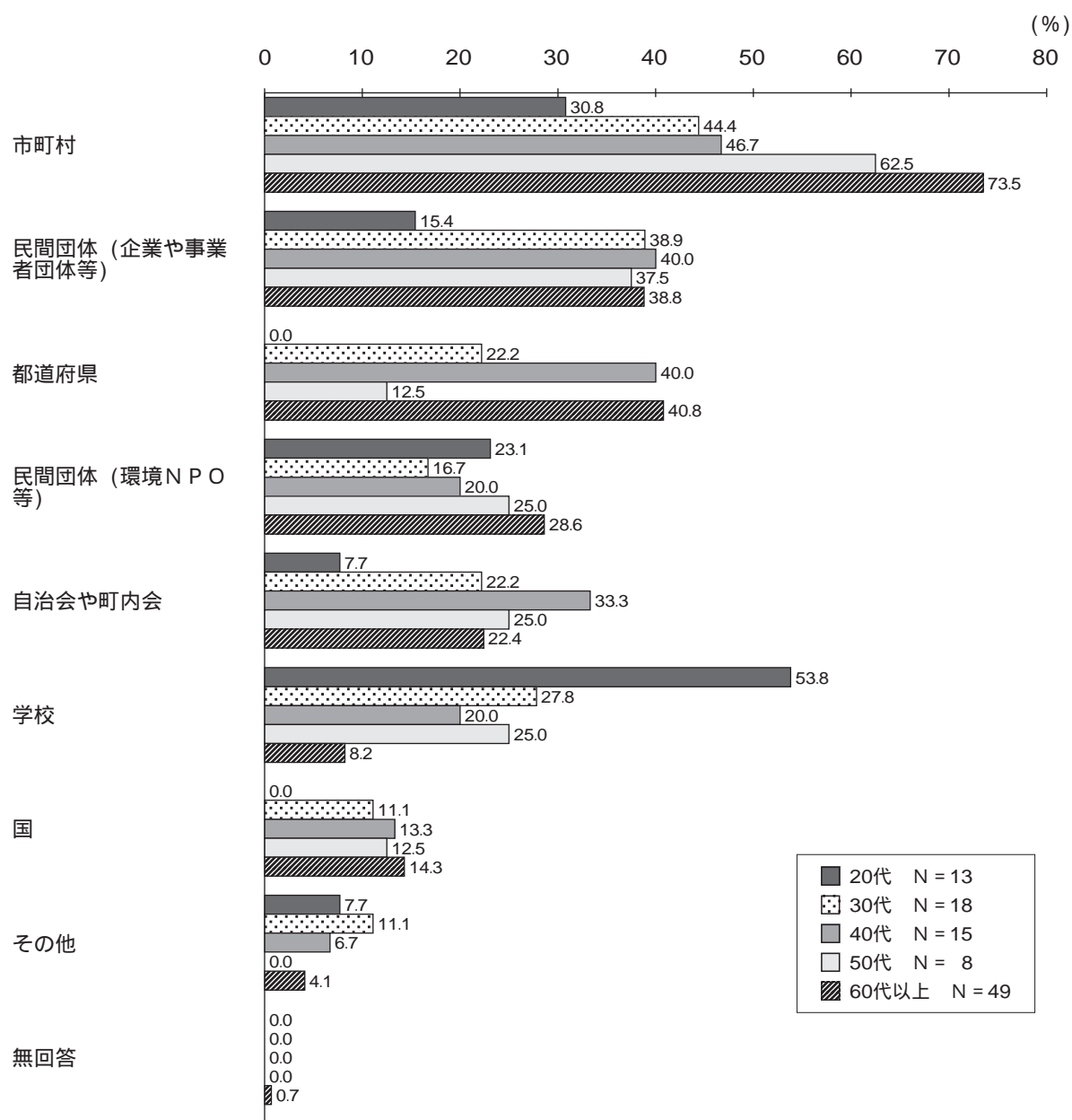
問9 問8で「1 参加したことがある、または参加している」と答えた方にお聞きします。あなたが参加した環境学習活動は、どこが主催（または共催・協賛）したものです。参加した全ての活動についての主催者を選んでください。（回答はいくつでも）



問8で「参加したことがある、または参加している」と答えた人に、参加した環境学習活動は、どこが主催（または共催・協賛）したものが尋ねたところ、「市町村」が58.3%、「民間団体（企業や事業者団体等）」が35.9%、「都道府県」が30.1%、などとなっている。

年代別にみると、「市町村」と答えた人の割合は、年代が上がるほど高くなっている。また、「学校」と答えた人の割合は、20代で最も高くなっている。

(年代別)

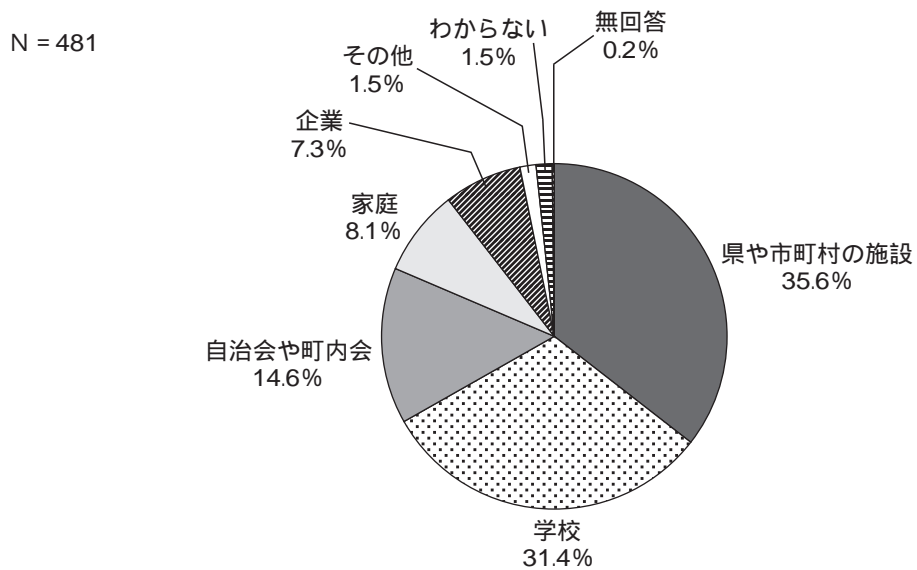


市町村が行っている環境活動に参加した方が58.3%と最も多くなっており、また、年齢の上昇とともにその参加率も上昇しています。これは市町村が行う環境学習活動の地元への浸透度の強さを表していると考えます。よって、今後、県としては、市町村の行う環境学習の質の向上等に対するサポートを図っていく必要があると思われました。

(環境部環境活動推進課)

10 重点を置くべき対象

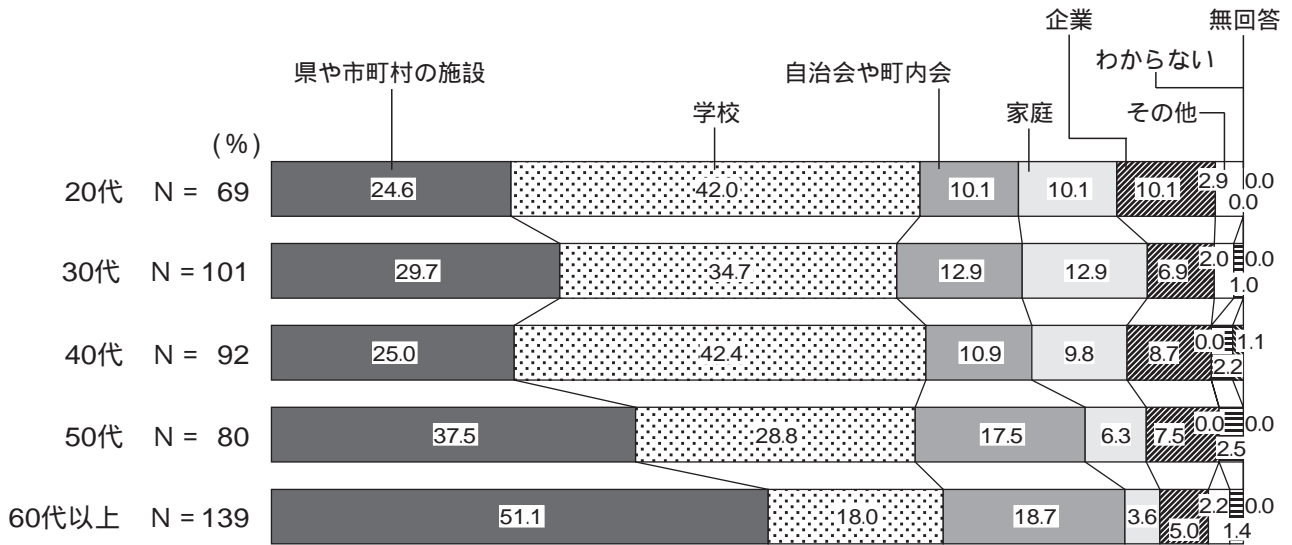
問10 環境学習は、次のうちどこで実施するのが最も効果的だと思いますか。(回答は1つ)



環境学習は、次のうちどこで実施するのが最も効果的だと思うか尋ねたところ、「県や市町村の施設」が35.6%、「学校」が31.4%、「自治会や町内会」が14.6%、などとなっている。

年代別にみると、「県や市町村の施設」と答えた人の割合は、概ね年代が上がるほど高くなっている。

(年代別)



環境学習を、どこで実施するのが効果的かという質問に対して、県や市町村の施設、学校で実施するのが効果的という回答が多くなっています。

愛知県では、愛知県環境調査センター（名古屋市北区）内にある「あいち環境学習プラザ」において、主に小中学生向けに科学的な実験を取り入れた体験型の環境学習講座を実施するとともに、愛・地球博記念公園（長久手町）内にある「もりの学舎」において、愛知万博で実施されたプログラムを継承・発展し、土日祝日、夏休み期間を中心に、年間を通してフィールド等を活用したプログラムを実施しています。

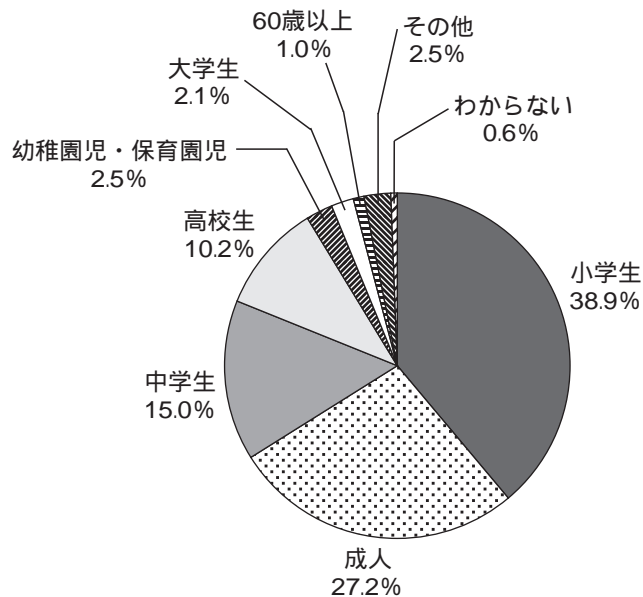
また学校に対しては、県内（名古屋市を除く。）の全小学校4年生に対し、環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配付をおこない、小学校での環境教育をサポートしています。

(環境部環境活動推進課)

11 重点を置くべき世代

問11 最も力を入れるべき環境学習の対象者は、どの世代だと思いますか。(回答は1つ)

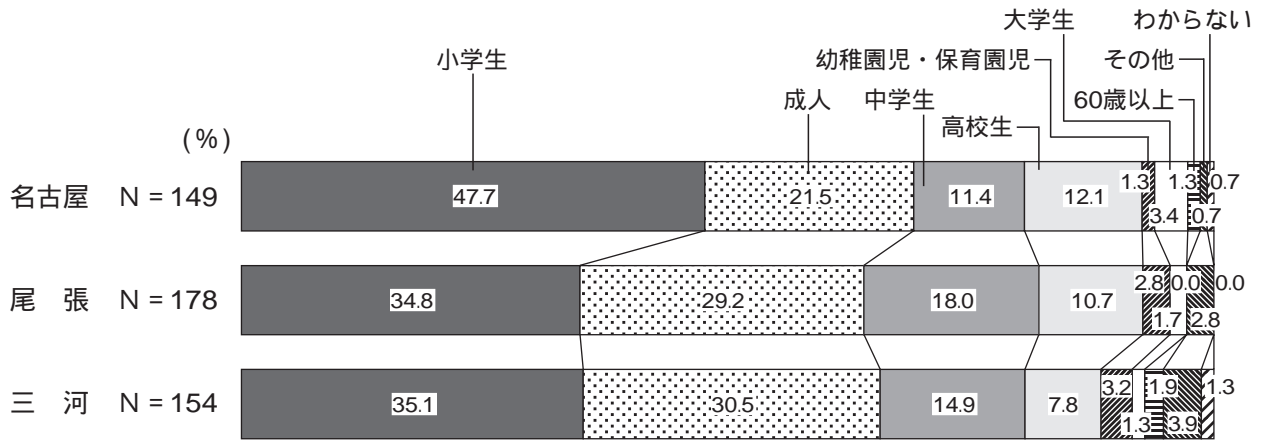
N = 481



最も力を入れるべき環境学習の対象者は、どの世代だと思うか尋ねたところ、「小学生」が38.9%、「成人」が27.2%、「中学生」が15.0%、などとなっている。

地域別でみると、「小学生」と答えた人の割合は、名古屋地域で最も高くなっている。

(地域別)



重点を置くべき世代は、小学生であるという回答が38.9%と最も多くなっています。これは環境に配慮した生活習慣を身につけるのには、年少の頃が身につけやすいと考える方が多いためと考えられます。

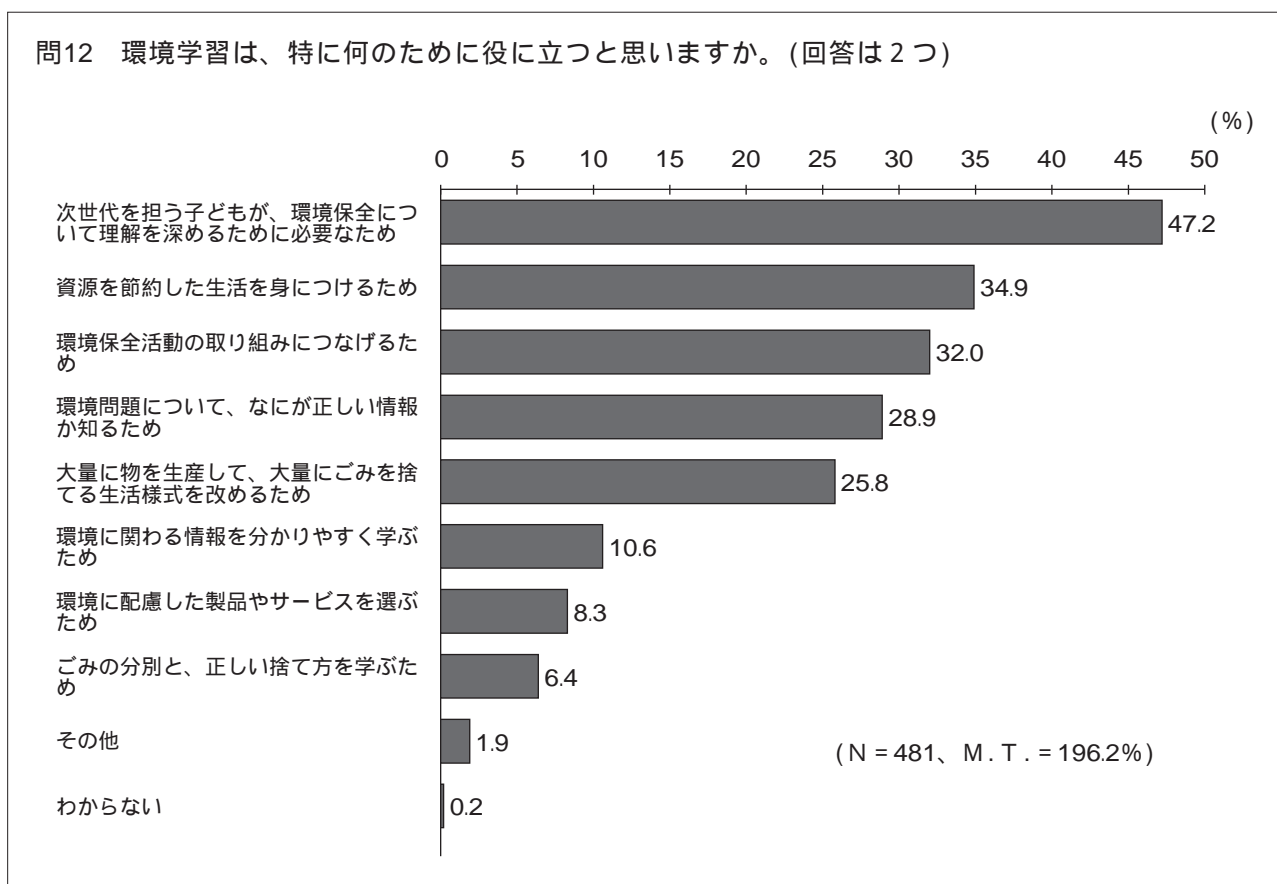
県では、より年少からの環境学習への取組として、「環境」をテーマとした手づくり絵本「あいち環境絵本」を公募し、幼稚園・保育園を中心にその読み聞かせを実施しています。

一方、成人という回答も27.2%と多く、これは環境に影響力が大きい成人が、環境学習に取り組まなければ環境の改善は望めないということによると考えられます。

愛知県では、あいちエコカレッジネットを設置し、18歳以上の希望者に対する環境学習講座を実施しています。

(環境部環境活動推進課)

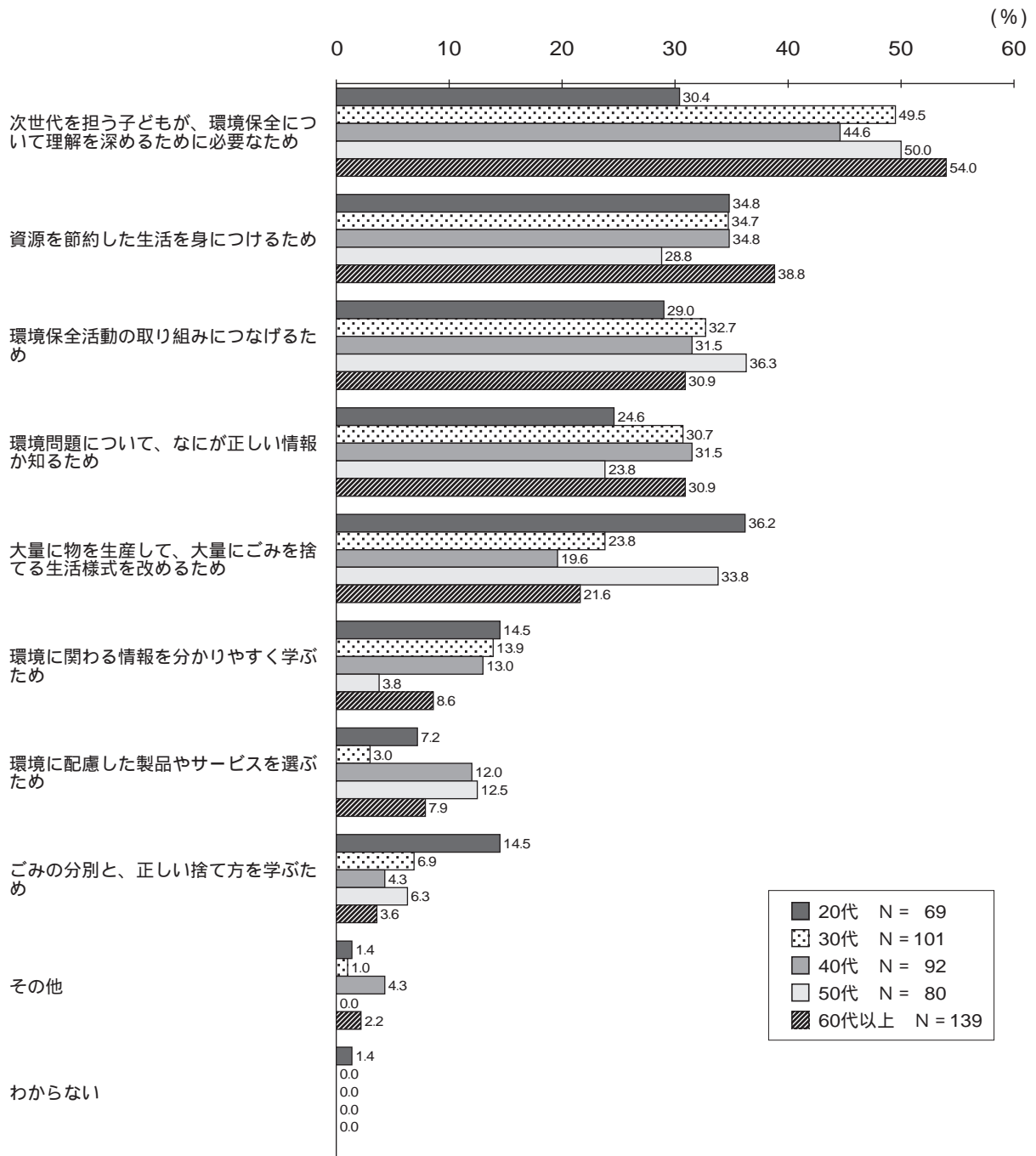
12 環境学習の効果



環境学習は、特に何のために役に立つと思うか尋ねたところ、「次世代を担う子どもが、環境保全について理解を深めるために必要なため」が47.2%、「資源を節約した生活を身につけるため」34.9%、「環境保全活動の取り組みにつなげるため」が32.0%、「環境問題について、なにが正しい情報か知るため」が28.9%、などとなっている。

年代別で見ると、20代を除いたそれぞれの年代で、「次世代を担う子どもが、環境保全について理解を深めるために必要なため」と答えた人の割合が最も高く、また、20代では、「大量に物を生産して、大量にごみを捨てる生活様式を改めるため」と答えた人の割合が最も高くなっている。

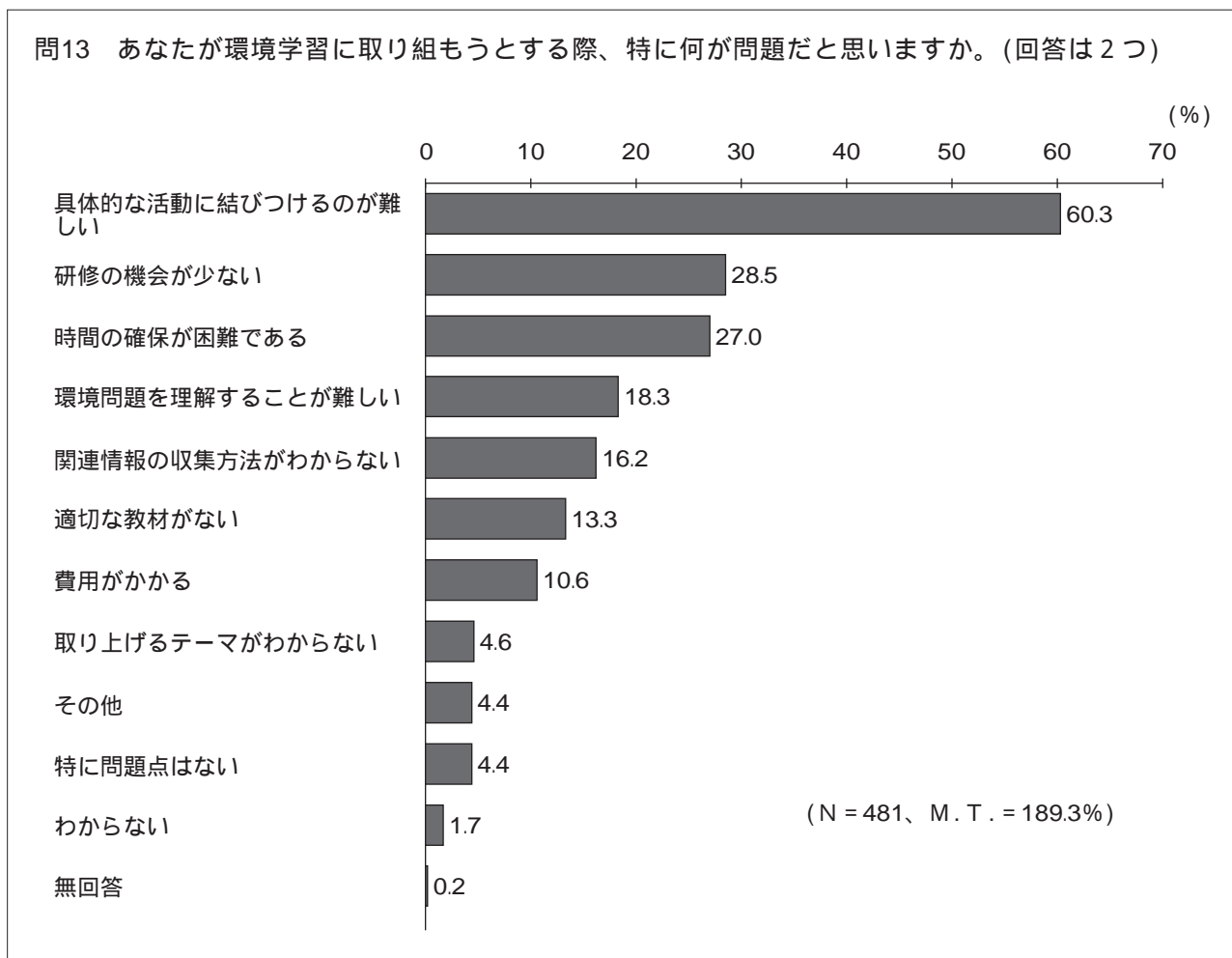
(年代別)



「次世代を担う子どもが、環境保全について理解を深めるため」という回答が47.2%で最も多いという結果になりました。将来の社会を担う子どもたちへの環境保全活動への期待を表したものと考えられますが、他にも環境学習により得たものを日常の生活に活かしていこうとする回答も多く、環境学習への期待の高さを表しているものと考えられます。

(環境部環境活動推進課)

13 問題点の把握



環境学習に取り組もうとする際、特に何が問題だと思うか尋ねたところ、「具体的な活動に結びつけるのが難しい」が60.3%、「研修の機会が少ない」が28.5%、「時間の確保が困難である」が27.0%、「環境問題を理解することが難しい」が18.3%、などとなっている。

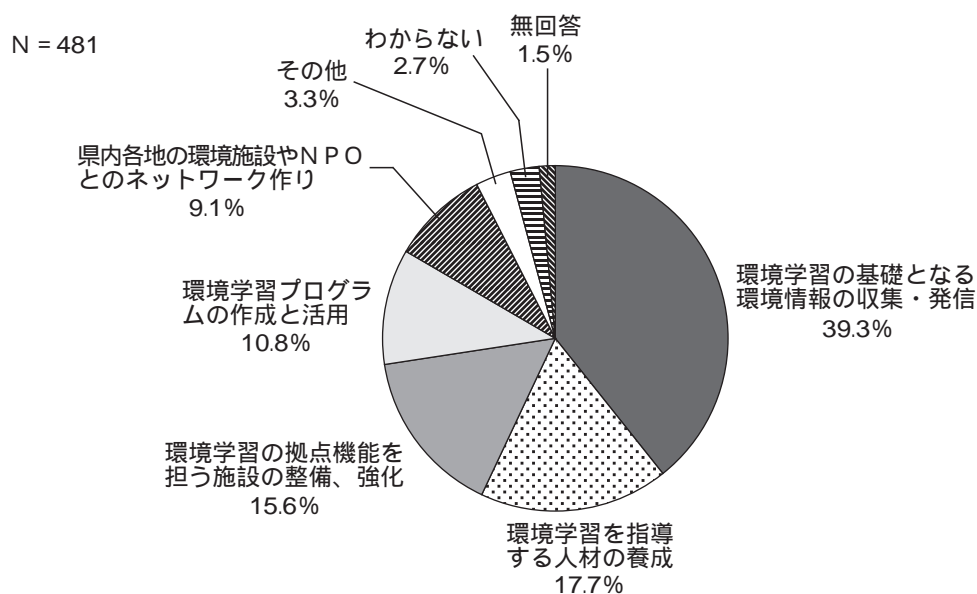
「具体的な活動に結びつけることが難しい」という回答が突出して多く、環境学習をした後の活動の手段や場所等に関する情報をいかに提供していくかが大きな課題であると認識しました。

(環境部環境活動推進課)

14 今後の取組み

問14 今後、愛知県が環境学習を推進するためには、どのようなことが最も必要だと思いますか。

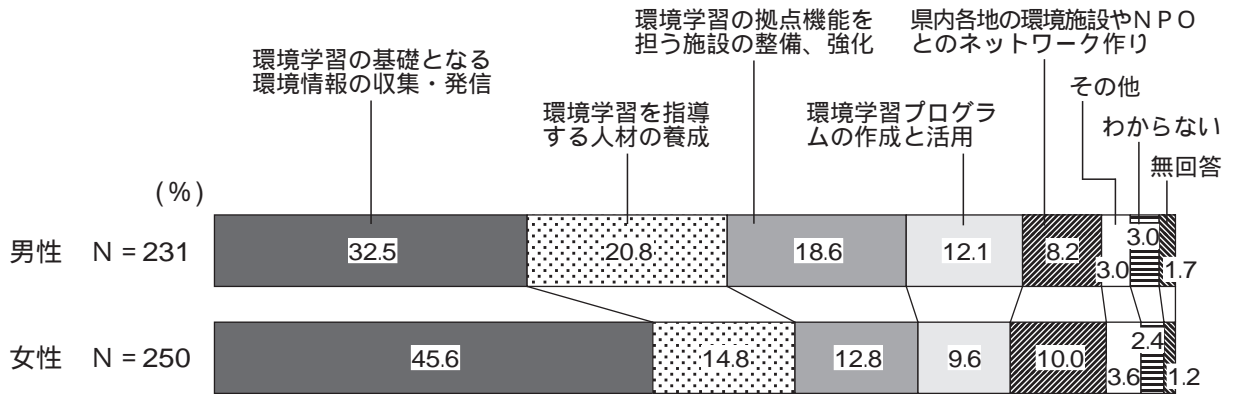
(回答は1つ)



今後、愛知県が環境学習を推進するためには、どのようなことが最も必要だと思うか尋ねたところ、「環境学習の基礎となる環境情報の収集・発信」が39.3%、「環境学習を指導する人材の養成」が17.7%、「環境学習の拠点機能を担う施設の整備、強化」が15.6%、などとなっている。

男女別にみると、「環境学習の基礎となる環境情報の収集・発信」と答えた人の割合は、女性で高くなっている。

(男女別)



愛知県が環境学習を推進するために最も必要なものは、「環境学習の基礎となる環境情報の収集・発信」という回答が39.3%と最も多くなっており、県民に求められているものは、環境情報の収集、発信と考えられます。

愛知県では、「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>にて各種環境情報の発信を行っています。さらに、エコカレッジネットにおいて環境学習指導者の養成も行っており、今後とも、こうした環境情報の発信に工夫と努力を行ってまいりたいと思います。

(環境部環境活動推進課)

15 自由意見

問15 本県の環境学習・環境情報についてご意見・ご提案があれば、ご自由に記述してください。

県の環境学習・環境情報について、自由に意見を記入していただいたところ、264件の意見がよせられた。それらを大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

| 項 | 目 | 件数 |
|----|----------------|-----|
| 1 | 環境学習・情報の機会について | 19 |
| 2 | (1) 対象 | 34 |
| | (2) 方法・考え方 | 78 |
| | (3) 実践へのつなげ方 | 33 |
| | (4) その他 | 6 |
| 3 | (1) 提供内容 | 20 |
| | (2) 提供方法 | 30 |
| | (3) その他 | 4 |
| 4 | その他 | 40 |
| 合計 | | 264 |

1 環境学習・情報の機会について

子ども向けの実験をともなった環境学習ももちろん大切ですが、大人向けの実験をともなった環境学習の機会もふやしていただけるとありがたいです。土曜日・日曜日の環境学習のイベントがさらにふえるとよいと思います。

愛知県は全国的に見て物作りの極めて盛んな地域であるが、その製造過程において環境に悪い影響を与える物質を排出しているのではないかと大変心配である。従って、より一層積極的な環境教育を期待しています。

もりの学舎やあいち海上の森センターが環境学習施設とは認識せずに楽しく利用させていただいておりました。お金をかけずに1日を楽しく過ごしている内に、身近に環境の大切さや愛知の森の豊かさを知ることができるこのような施設があることを、もっと県民に周知徹底されればよいなと思います。

県は、県内の環境情報や活動を新聞やテレビで頻繁に取り上げ、多くの県民の意識を高めるべき。また、小学校での体験学習を強化し、子を通して親の教育へ繋げる。現在のやり方、頻度では多くの県民に伝わっておらず、県の活動は弱すぎる。

環境は私たちの生活に直結するので良くするも悪くするもちょっとした気持ちの違いですぐに左右できると思います。そのため、具体的な数字や取り組みをどんどん発信して欲しいです。

愛知県の環境がどういう状況なのかを、知る機会がないので、良くなっているか悪くなっているかはっきりとした事はわかりません。しかし異常気象などテレビなどでやっているのを見ると悪くなっているのだと感じています。具体的にどれぐらいの数値で悪くなっているとかを示す資料などを県民にわかるように公開して欲しいと思います。

全体的に情報発信が少ないと思います。また市町村との連携が必要だと思います。

親と子が一緒になって環境について考えることができる環境学習をもっと増やして欲しい。夏休みだけでなく連休がある日を活用して欲しい。

もっと真剣に環境のことを考えていく機会をたくさん提供してもらえると助かります。

もっと自治体が積極的に環境問題について取り組むべきだ。

環境学習・環境情報ともにたいへん重要なことなので、よりいっそう力を入れる必要があります。ただその場合自然環境問題ばかりでなく社会環境問題にもっと力を入れるべきでしょう。

環境学習は、継続が必要で、大切ですから、経費はいささかかかるかもしれませんが、くどい程度何度も繰り返してください。

環境問題は多くの方が知っていると思いますがまだ危機感があまりないと思います。もっとみんなが危機感を持てるように発信して欲しいです。個人でもゴミ分別などできる事をしていきたいです。企業ではスーパーでの過剰包装をやめるなど取り組んで欲しいです。

2 環境学習について

(1) 対象

環境について、関心があり、楽しく取り組んでくれるのが、小学生だと思います。学校側と連携していったらよいのではないかと思います。

子供はとても素直なので、すぐに頭に入り、実践してくれると思います。むしろ、厄介なのは、言う事を聞かない大人たちです。特にゴミの出し方は、ひどいです。分別はいい加減だし、決められた日に出さない・・・など、何とかしてまずは大人から意識改革をしたいです。

私が小学生だった頃、環境問題を取り上げた学習や行事がありました。その時学んだ多くの事、今でも覚えていて日常生活でも意識を持つことができています。新聞やコミュニティーにおいても環境についてのテーマがあれば意識的に考えたりする習慣が身につきました。環境学習は多感な時期である小学校から段階的に盛込むことが効果的であると感じます。

環境学習は大人になってからだと、なかなか身に付ける事は難しいと思うので、小学生のころから授業に取り入れるとよいと思う。また子供が学校で教わった事を家庭に持ち込み家族全員で話し合いができれば、大人も子供を見習って、学習するようになると思う。

今までは将来を背負って立つ小学生こそ環境学習は大事だと思ってきたが、生活しているうえで親の生活様式により子供の考え方が決まることに気付いた。だからもっと親世代に環境問題の勉強と意識づけをしなくてはいけないと思った。今では当たり前になったマイバック持参など少しのお金ももたないと思う気持ちがごみ減量につながっている。子供にもたないという気持ちを教えられる親を作らなければ。

やはり幼児期、小・中学生のころからの教育が重要だと思います。年配者に今さら教育しても効果は期待しがたいではありませんか。

子供は学校等で教育できるかもしれないが、まともに環境に対して認識していない大人の人が学習する機会がないと、親ができないのに子供が見習うわけがないと思います。もっと親のモラルとかに力を入れないと、子供を叱れない、見本を見せないではますます環境が悪化してしまいます。

環境問題については、人それぞれ受け止め方の違いが大きい分野だと思う。画一的な施策も大切であるが、関心層、無関心層とターゲットを絞った施策展開の検討も必要だと思う。また、愛知独自に学校教育と連携を図ることも大切だと思う。

環境学習という子ども教育のイメージがありますが、本来は私たち若年世代（子育て世代）にとって必要と感じます。この世代が理解することで、本当の意味で世の中も変えることができるし、子ども達へも大きな影響を与えることができます。高齢者や子どもなどをターゲットとしているのは、結局、とっつきやすい、やりやすいという言い訳では？本当は、環境学習は我々世代が最も不足し、最も必要としているのだと思います。子育て世代にも、どんどん働きかけて欲しいです。

小学校の高学年から中学生と続いて学習すれば、大人になってからもとても役に立つのでは、ないでしょうか。

小・中・高校生の遠足先で、県の環境施設を取り入れるのがよいと思っています。小学校時代に行った所に高校生になりもう一度訪ねてみると、また違った視点で環境について考えられると思います。

もっと広報などを行い、環境保全が身近な物になるように若者レベルから教育して欲しい。

環境問題は関心がないわけではありませんが、自分のできることはやっているが、社会参画型の取り組みを想起した場合、何があるのか思いつきません。また、いつも思っているのですが、この種の問題の啓発は、将来をになう子供、とりわけ小学生位を対象に丁寧にやられたらと思います。大人になってからでは遅いと思います。

環境については、小学校から、指導して興味を持たせる事が大切だと思う。早い時期から、学習するべきだと思う。

県民参加型の教育プログラムによる啓蒙活動が重要。学校などでの若年層への教育も重要だが、最後は大人が実際に動くようにしなければ何も変わらない気がする。したがって、大人を動かすプログラムであって欲しい。かなり困難が伴うとは思いますが、次世代の為に。

親子で参加できる環境学習プログラムをぜひ企画して頂きたいです。できれば、子供の年齢制限も幅広くして頂けるとありがたいです。（低学年のみ、高学年のみなどの参加可能型だと、兄弟のどちらかが参加できない時が多く結局参加をあきらめざるを得ないことが多いので）日数や時間も

手軽に参加できる短時間企画なども、時には、企画して頂けると参加しやすいです。

(2) 方法・考え方

環境問題の話は、よく耳にするけれど、愛知県で、どのような取り組みをしているのかは、実際の所、あまり把握できていません。難しいことは、よくわからないので、一人ひとりができる簡単なことから教えていただけたらと思います。

小中学生の授業に「環境」の科目があってもよい。「環境道德」など。あるいはクラブ活動で環境に関わる物をもっと増やしてもよい。そこに外部の講師等を招いても構わないのではないかと。

COP10も、いよいよ10月に開催され、市民の中に、この催しにより環境についての情報等がかなり浸透してきている様に思える。まだ、家庭内での環境に対する知識の啓もうが不足している様に思える。解り易いヒントの提供が必要だと思う。

色々な活動をされているとは思いますが、直接触れ合う機会が無く、よくわからないというのが現状です。きっと同世代の方はそういった方が多いのではないのでしょうか？子供たちの教育を通して親世代にもつながるそんな環境学習をしてもらえるとよいと思います。

環境問題が重要で、現今真剣に取り組むべきことが山積みされているが、具体的に、何をどの様に行動していくべきかの行動目標を、よりわかり易く、具体的に説明し、市区町村の単位で目標を決めて全員で立ち上がる行動の要請や情報をもっと欲しい。身近なところから徹底できる様にしていきたい。

愛知県が主催している環境に関するものがありますが、あまり知られていない気が……。個人が催している自然観察には参加し、そこでCOP10の勉強をさせてもらっていますが、それを、もっと身近な公園や学校まわりの環境から勉強して行けば、子供達に関心を持ってもらえるのではないかと思います。

環境学習は、身近な町内会等で実施してもらおうと、環境問題への関心も広がるのではないかと思います。

環境学習といっても漠然としていてわからない人が多いと思うので、広報などを通じて地域学習の中で、具体的に情報を発信して欲しい。

いまできること、しなければならないことを、積極的に、知らしめて欲しい。またその理由を、正しく指し示して欲しい。

ごみの分別など、環境に対する県民の意識は向上しているものの、自分勝手な行動で、自然環境に悪影響を知らぬ間に与えていることが多いと感じます。普段からの行動指針のような冊子を作製、配布していただければ、家庭内での教育・学習につながると思いますが、いかがでしょうか？

小4の娘の夏休みの自由研究の宿題が「環境問題について」でした。広報に五条川石岸浄化センターの親子見学会があり、初めて参加し、自由研究に役立てました。子供だけでなく、親子そろって、身近なものから目を向けてみると新しい発見があると思います。私自身も初めて知ることが多

く、よい機会でした。

環境悪化は、過去から未来への長時間の蓄積で起こるので、切迫感がない。これを、現時点の問題として訴える工夫が大切だと思います。

教員をしていた経験があるので、学習の一環として、環境にも取り組んだことがあります。児童らも含めて、環境の今の状態を大局的にあるいは具体的に確かめられることがなかなかできないので、講師をよんで、現状を具体的に説明されると目を輝かせます。さらに自分も役立つという実体験があれば環境を大切にするという気持ちが育つと思われれます。又、企業側にももっと「売ればよい」「便利ならよい」という考え一辺倒から、少々不便でも環境によいという製品を開発アピールするよう行政も働きかけて欲しい。

今月、自治会（尾張旭）からゴミ分別のビデオを各家庭に見るよう回覧されました。改めてゴミ分別の大切を知りました。このようにわざわざ出向かなくても、各家庭で簡単に勉強出来る事がよいと思います。

環境問題は日常生活の中、一人ひとりの意識から変えていく事が必要だと思います。意識が変われば個々の生活から環境を意識するだけでなく、フードマイレージを気にしたり、CSRに重点を置いている企業を選択したり変わっていくと思います。生活に根差した環境学習・環境情報を県内での先進的な取り組み事例として発信して欲しいです。

環境学習において、講義であっても、実際に行動するものであっても、子供も参加できる様なものにして欲しい。親も子供には環境を考える子供になってほしいと思うし、親も子供がいると参加できない、という場合もあると思うので、子供も参加できる様に企画して欲しい。

環境学習と言う単語が堅すぎて入りにくい。もっと分りやすい様に工夫すべき。

現在、幼稚園児の子育てをしています。園から配布されるパンフレット等、子供が興味を示すことが多いので、絵を使ったわかりやすいパンフレットを作成していただけると、興味がわくのではないでしょうが。絵本とかでもよいかと思います。

温暖化が進み明らかに地球の生態系のバランスが崩れているのを感じますが今現在の地球の生態系の様子、大気や土壌や水質の汚染の具合、又、それが私達にどのような影響を与えているのかが身近にはっきり判らない。又、それに対する社会、企業の取り組みや各家庭や個人でできる努力、解決策をわかり易く、具体的に教えて欲しいと思います。又、効果をあげている外国での取り組みも教えて欲しいです。

その年代、年代にわかりやすい内容であと身近な地域で環境学習活動が学べたらよいと思います。

将来、次世代に向け実生活の中で行う事の出来る活動を市、県の施設等で体験出来る講習を行うべき（親子で体験）。

子供ができたので機会があれば環境をテーマにしたイベントなどに参加したいと思います。まずは自分からそういう意識を常に持てるようにして、子供にも教えていきたいと思います。なかなか自分から参加しようと思うと難しいので、よく行くショッピングセンターなどでなんとなくイベントなどやっていると行きやすいと思います。内容も自分の身近なゴミの問題なんかだとつつきや

すいと思います。とりあえず環境問題というと難しいイメージがあるので自分でもできることを見つけたいです。

今までは自分なりにできるエコにつながる取り組みをしていましたが、今年子供を生んだので今後大きくなったら県で学習や情報収集ができる機会があるなら一緒に学んでいきたいと思いました。今世界的に環境が注目されているので日本でも、もの作り愛知として先頭に立って色々やってもらいたいと思いました。

環境学習が出来る場所・環境をもっと広めて欲しいです。若い方も年配の方も皆さんが利用できるようにお願いしたいです。愛知万博の様に環境をテーマとしたイベントをもっとやって欲しいと思います。今回環境のテーマで改めてゴミの出し方、講座などあったら参加しようという環境の勉強になりました。

(3) 実践へのつなげ方

環境問題は地球規模の課題であり、個人個人で考えたり、実行することは限界があるように思われるが、私も日々の生活の中で、できることがないかを考えながら、少しでも環境浄化に努めたいと思います。

環境というとゴミ問題をすぐに思い浮かべます。一人ひとりが正しい情報を得、本当にうまく、処理、リサイクルが進んでいって欲しいと思います。

各地の自然観察会、体験型学習会などに参加したり情報収集して関心と理解を深め、家庭から環境問題を解決に向け心がけたいと思います。

何が正しい情報かわからないことが多いが、個々人が、ゴミを少なくするなどの、できる範囲のことで行っていくことが大事であろう。

意識して環境学習を行うのは、いろいろな事情で億劫に感じる。(時間不足、体力不足、意欲不足etc) まず環境保全につながるような普段の生活の中で実践せざるをえないような活動、動作を形式的に整備して欲しい。習うより慣れざるをえない状況を準備するとよいと思う。まだ柔軟で素直に物事を吸収する子どもたちには、環境学習のプログラムを活用すると、後々の環境が少しはよくなるような気がします。

次の世代の子にいい環境で過ごせるように一人ひとりがモラルを大切に日々行動することが必要だと思います。子供が6才になったのでこれから市や自治体の環境に取り組む活動と一緒に参加していきたいです。

環境問題について以前より関心を持っています。子どもと共に学習していきたいと感じていますが、なかなか実行に移せないのです。何かきっかけづくりを県ですて頂ければ幸いです。

県民が関心を持つ方策が大切だと思います。身近な問題から取り組んで行くことが必要だと思います。

自分が子供だった頃に比べて環境問題は幅広く、深くなってきていると思います。何が大切かを

どんな観点で学ぶかが難しいとは思いますがみんなが暮らす地球のためにできることを子供に教える機会を設けて欲しいと思います。

今回のテーマは難しく、また興味深いものでもありました。「環境学習」は経験がなく、どのようなことをするのか想像が付きませんが結果が出せたら楽しく取り組めるのではないかと思います。まずは主人と子供で環境について少しでも話ができればと考えています。

「物を大切にする」「節約する」等の生活態度、意識、雰囲気を作り出し、個人個人の小さな行動が積み重なる様な社会が望ましい。

環境問題は、非常に大きな問題であるとともに、難しい課題が多く現状の生活を見直したくても見直せない状況が多いと感じる。例えば太陽光発電にしても既存の住宅に設けるには、オール電化にして尚且つ家自体補強をしなければいけない。また、自家用車の普及で公共用バスの路線が縮小され、マイカーでの移動を余儀なくされている。そして、スーパーの惣菜コーナーの過剰包装にしても、商品を陳列して販売する以上包装は、していないと誰が触ったか判らないので買う気がしなくなる、など。現実にはどうすればよいのかといろいろな立場の方がみんな考える必要性がある。

(4) その他

資源ゴミについては、毎週日曜日に分別して回収所に持参しています。我が家でも以前と比べて可燃ゴミの量がかなり減ってきていると思います。回収所は込合っており、愛知県の住民の環境意識は高いものがあると思われます。ゴミ収集の量が減れば行政コストも節約できるのではと思います。

新しい物に次から次へと買いかえてしまう現代。必要ない物、ある物は買わないなど心掛けています。

今まで、県の取り組みをほとんど理解していませんでした。これを機会にインターネットなどでチェックしていきたいと思います。

3 環境情報について

(1) 提供内容

現在、県が、どのような環境学習・情報を提供して下さっているのかも、よくわからない。未来のある子ども達にとっても、環境が、暮らしやすいものであるように、県民として何を心がけるとよいか、具体的に発信して欲しい。また、子ども達が一番吸収できるのは、学校教育であると思われるので、英語の授業がされるようになったが、環境の授業が取り入れられてもよいのではないかと思う。また、大きな企業に対しては、環境を守る一歩踏みいった規制も必要ではないかと思う。

環境に関する具体的な数値を他県や他国などと比較するなど、誰でもわかりやすいかたちで情報を提供して欲しい。環境学習は、子供のころからの教育が必要なため、親も含めて学習する場をつくって欲しい。

近年地球環境が大きく変化してきているようには感じますが、具体的な影響と対策についてはあまり身近に感じません。このままだと、自分たちにどのような影響が出るのかをもっとわかりやすく知らせてもらえれば、自分自身の問題としてとらえることができるように感じます。

私自身、環境によいことを実施したいと思いますが、実際どのようなことをすればよいのか分からない状況です。もっと住民一人ひとりができることを情報として発信すべきだと思います。例えば、ごみの分別、プラごみを分別する必要はないなどとテレビで言う人もいるので、それが本当に環境によいのか、分からなくなってしまう。

私は主婦ですので身近なところで自分が生活している中で、知らずにしている環境に悪いこと、又よいことの認識を深めたいと思います。広報誌に、ワンポイントアドバイスのような、簡単でわかりやすいイラストでの提案や注意点をのせるのはいかがでしょうか。

(2) 提供方法

HP等、インターネットを利用した広報は、パソコンを持たない人（特に年寄）には届かない。新聞などの紙媒体での広報は欠かすことが出来ないと思う。詰替用を買うより、特価になっている本体を買った方が安いことがよくある。生活に余裕がないと頭では分かっているけど、実際の購入に結びつかない。また、企業、販売店の協力は不可欠である。

環境ほど身近なのに知らないことはないと思います。まず県が情報を発信し、それを県民が正しく理解することが大切だと思います。必要であれば、強制的にでも情報収集をうながすべきではないでしょうか。

環境情報をインターネットやメールをしていない人のために、今後もパンフレットや冊子での積極的な提供をしていただけるとありがたいです。

私自身、環境に関して知識が殆ど無いことと、関心もまだ低いのが現状です。テレビ・ラジオ等で、アピールがあれば多くの人に関心を持つのではないかと思います。関心を持てば環境について知りたいと思うし、よくしていこうという心が働くので、よい方向にいくのではないのでしょうか。

定期的に県の環境状況等、簡単なグラフ等で知らせて欲しい。

環境情報は、自分から積極的に収集する人は少ないのでは。自然に情報が入ってきて、興味を持てるようにすることが必要だと思います。そのためには、テレビなど公共のメディアが有効だと思います。

今年の夏はとても暑くて、周りで温暖化が進んでいるだよねとの話が何度も出ました。実際愛知県でどれだけ温度が高くなってきているのか、そして、温暖化を防ぐためにどのような方法があるのか（家庭で実践できる方法、たとえば、ごみの分別等）を新聞広告にまとめて載せると、効果が

出るのではないのでしょうか。

ネット環境のない私が、興味がなくても目を通すのが新聞です。ネットや講演会があったとしても、興味をもたないサイトは開かないでしょうし、講演会に行くには子育て中の身では時間もとれません。どれだけ数値データを言われても「捨てたつり針がささった水鳥」や「ゴミ（特に粗大ゴミ）の山」を写真で見れば、その方が具体的に捨てると動物が悲鳴をあげる、修理して使おう、と思います。環境情報パンフなど立派すぎてもったいないと思います。もっと素朴なパンフで十分と思います。

ことしの夏は異常気象と言われていますが、原因として温暖化も一因と言われています。そこで、温暖化防止のために県民がやるべき事はいっぱいあると思います。新聞などメディアでもよく取り扱っていますが県としては、もっと各地域において広く県民に知ってもらうため各市をまきこんだ学習の場を設けたらと思います。名古屋まで行けばいろいろ情報を取り入れる事が出来ますが、なかなか出かける時間が取りにくくなったり（例えば高齢化、看病、自営業etc）するので、地域密着型の提供をお願いしたいと思います。

今年は例年になく猛暑日が続き、地球温暖化が肌で感じられた気がしました。CO₂など温暖化に影響していると言われるガスの削減のため車の使用を減らしたり暖冷房その他ムダな所はできる大節減を心掛けたいと思いました。ゴミ問題にしる、温暖化問題にしる、目の前にゴミが山積みになったり、暑さに苦痛を覚えれば気をつけなければと思いますが目の前から見えなくなれば忘れてしまいます。現状はどうなっているのか、しばしば耳にし、目にする機会を与えられることが環境問題では大切だと思います。インターネット等では自らアクセスする意志を前提としているし意識しなくても目に入り耳に入ってくるやり方が大事だと自分の体験から思います。

より多くの人に関心を引くには、ショッピングセンターやレジャー施設などでのイベントみたいなもので、楽しんで参加できるものがあるとよいのではと思います。

私は、家庭を持つようになってからリサイクルなどに積極的になったけどきちんとした知識を身に付ける為にもっと身近なところで伝えて欲しい。TVやチラシなどで見れたらよいと思う。家は新聞をとってないのでポストなどに入れてくれてもよいと思う。

(3) その他

質問に答えてみて自分の環境についての情報収集のなさに驚きました。この機会に関心をよせるつもりです。

4 その他

環境の悪化は日常生活を営む、人間にとって大変危険なことであり、私達高齢者はいいとしてもこれから育っていく若い人により環境を与えていかなければならないと思います。多方面に渡ってPRしていかなければならないと思います。

環境学習についてのアンケートが今までで一番難しかった。一番大切なテーマであるかわりに、具体的な事柄ではない、大切な事はわかっているが、では、どうすれば良いのかわからない。一人ひとりが心がけた位では、よくなっていかないし、無理がある。大きい力で良いと思う方向に導いてもらって、そこに一人ひとりの努力が加わるとよりよいと思います。

環境学習・環境学習と言葉や文字を見るだけで、難しい問題とってしまうので、もう少し、簡単にやさしい言葉があると親しみを持てると思いました。

子供の未来のため、取り組まなければならない問題である。早くしなければと思う。

質問と回答 (単位...「総数」：人、「総数」以外：%、四捨五入により合計は必ずしも100%にならない)

1 日常生活での実感

問1 あなたは、過去10年間で愛知県の環境の状況について、どのような実感をお持ちですか。

(回答は1つ)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 よくなっている | 4.2 | 3.9 | 4.4 | 6.0 | 4.5 | 1.9 | 1.4 | 1.0 | 3.3 | 3.8 | 8.6 |
| 2 ややよくなっている | 24.1 | 27.3 | 21.2 | 21.5 | 26.4 | 24.0 | 15.9 | 22.8 | 12.0 | 23.8 | 37.4 |
| 3 変わらない | 19.5 | 18.6 | 20.4 | 19.5 | 18.5 | 20.8 | 30.4 | 21.8 | 22.8 | 15.0 | 12.9 |
| 4 やや悪化している | 30.6 | 27.7 | 33.2 | 30.2 | 31.5 | 29.9 | 27.5 | 27.7 | 39.1 | 31.3 | 28.1 |
| 5 悪化している | 13.5 | 15.2 | 12.0 | 14.8 | 12.4 | 13.6 | 11.6 | 13.9 | 17.4 | 13.8 | 11.5 |
| 6 わからない | 7.7 | 6.9 | 8.4 | 8.1 | 5.6 | 9.7 | 13.0 | 12.9 | 4.3 | 11.3 | 1.4 |
| 無回答 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 1.3 | 0.0 |

2 気になっている環境分野

問2 問1で、「4 やや悪化している」または「5 悪化している」と答えた方にお聞きします。そのようにあなたが感じる理由を選んでください。(回答はいくつでも)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|-------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 212 | 99 | 113 | 67 | 78 | 67 | 27 | 42 | 52 | 36 | 55 |
| 1 大気汚染が進んでいるから | 38.2 | 36.4 | 39.8 | 41.8 | 37.2 | 35.8 | 44.4 | 47.6 | 34.6 | 30.6 | 36.4 |
| 2 水質汚濁が進んでいるから | 34.4 | 37.4 | 31.9 | 32.8 | 35.9 | 34.3 | 44.4 | 28.6 | 26.9 | 41.7 | 36.4 |
| 3 土壌汚染が進んでいるから | 17.0 | 19.2 | 15.0 | 14.9 | 24.4 | 10.4 | 11.1 | 9.5 | 19.2 | 19.4 | 21.8 |
| 4 騒音・振動・悪臭による被害が広がっているから | 31.6 | 38.4 | 25.7 | 28.4 | 37.2 | 28.4 | 25.9 | 33.3 | 36.5 | 30.6 | 29.1 |
| 5 地盤沈下が進んでいるから | 9.9 | 10.1 | 9.7 | 13.4 | 11.5 | 4.5 | 14.8 | 11.9 | 11.5 | 2.8 | 9.1 |
| 6 ごみ問題で最終処分場がひっ迫したり、不適正な処理が増加しているから | 55.7 | 57.6 | 54.0 | 52.2 | 69.2 | 43.3 | 59.3 | 42.9 | 63.5 | 52.8 | 58.2 |
| 7 生き物の数や種類が減ってきているから | 59.4 | 58.6 | 60.2 | 64.2 | 60.3 | 53.7 | 63.0 | 47.6 | 59.6 | 58.3 | 67.3 |
| 8 地球温暖化が進んでいるから | 76.9 | 72.7 | 80.5 | 79.1 | 74.4 | 77.6 | 66.7 | 76.2 | 75.0 | 72.2 | 87.3 |
| 9 その他 | 11.3 | 14.1 | 8.8 | 10.4 | 10.3 | 13.4 | 14.8 | 9.5 | 9.6 | 5.6 | 16.4 |
| 10 わからない | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 無回答 | 0.9 | 1.0 | 0.9 | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 2.8 | 0.0 |

3 環境問題の解決方法

問3 あなたは、環境問題に対応するためには、何が一番必要だと思いますか。(回答は1つ)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 企業の努力 | 12.7 | 12.1 | 13.2 | 13.4 | 14.0 | 10.4 | 10.1 | 12.9 | 18.5 | 6.3 | 13.7 |
| 2 NPOの活動 | 1.0 | 1.3 | 0.8 | 0.0 | 1.7 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 1.3 | 1.4 |
| 3 一人ひとりの取り組み | 52.6 | 45.9 | 58.8 | 55.0 | 48.9 | 54.5 | 59.4 | 53.5 | 50.0 | 51.3 | 51.1 |
| 4 技術開発 | 7.3 | 10.0 | 4.8 | 6.7 | 6.2 | 9.1 | 7.2 | 7.9 | 5.4 | 6.3 | 8.6 |
| 5 環境関係の規制の強化 | 22.9 | 27.3 | 18.8 | 22.1 | 26.4 | 19.5 | 20.3 | 24.8 | 19.6 | 28.8 | 21.6 |
| 6 その他 | 2.7 | 2.6 | 2.8 | 2.7 | 2.2 | 3.2 | 1.4 | 1.0 | 3.3 | 5.0 | 2.9 |
| 7 わからない | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 0.7 |
| 無回答 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.6 | 0.6 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.0 |

4 愛知県の環境の情報源

問4 あなたは、愛知県内の環境に関する情報を、主にどのような情報源から得ていますか。

(回答はいくつでも)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|--------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 書籍、白書 | 9.6 | 13.0 | 6.4 | 11.4 | 9.6 | 7.8 | 7.2 | 5.9 | 14.1 | 8.8 | 10.8 |
| 2 インターネットやメールマガジン | 22.2 | 29.0 | 16.0 | 22.1 | 25.3 | 18.8 | 27.5 | 21.8 | 32.6 | 20.0 | 14.4 |
| 3 新聞・雑誌 | 77.8 | 76.2 | 79.2 | 78.5 | 85.4 | 68.2 | 63.8 | 76.2 | 73.9 | 73.8 | 90.6 |
| 4 テレビ・ラジオ | 67.6 | 66.2 | 68.8 | 65.8 | 70.2 | 66.2 | 59.4 | 68.3 | 69.6 | 68.8 | 69.1 |
| 5 広報誌、パンフレット、環境報告書 | 54.3 | 53.2 | 55.2 | 59.1 | 54.5 | 49.4 | 43.5 | 52.5 | 48.9 | 56.3 | 63.3 |
| 6 講師による講演会、セミナー | 8.9 | 9.5 | 8.4 | 9.4 | 11.8 | 5.2 | 2.9 | 3.0 | 7.6 | 7.5 | 18.0 |
| 7 自然観察会や体験型学習会 | 9.4 | 9.1 | 9.6 | 9.4 | 11.2 | 7.1 | 2.9 | 8.9 | 12.0 | 3.8 | 14.4 |
| 8 その他 | 2.3 | 3.9 | 0.8 | 0.7 | 2.2 | 3.9 | 0.0 | 3.0 | 1.1 | 1.3 | 4.3 |
| 9 得ていない | 5.2 | 4.3 | 6.0 | 4.0 | 2.2 | 9.7 | 7.2 | 5.9 | 4.3 | 8.8 | 2.2 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

5 環境学習施設の認知度

問5 あなたは、次の愛知県内の環境学習展示施設の内どれを知っていますか。また、これら以外でご存じの施設があれば、その他に記入してください。(回答はいくつでも)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|-------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 あいち環境学習プラザ (名古屋市、愛知県環境調査センター内) | 19.3 | 18.2 | 20.4 | 28.2 | 17.4 | 13.0 | 23.2 | 13.9 | 16.3 | 17.5 | 24.5 |
| 2 もりの学舎(愛・地球博記念公園内) | 29.7 | 27.7 | 31.6 | 32.2 | 30.3 | 26.6 | 18.8 | 38.6 | 23.9 | 17.5 | 39.6 |
| 3 愛知県弥富野鳥園(弥富市) | 31.8 | 34.2 | 29.6 | 43.0 | 37.1 | 14.9 | 11.6 | 25.7 | 31.5 | 36.3 | 43.9 |
| 4 あいち海上の森センター(瀬戸市) | 42.2 | 40.7 | 43.6 | 48.3 | 44.4 | 33.8 | 23.2 | 31.7 | 42.4 | 47.5 | 56.1 |
| 5 愛知県下水道科学館(稲沢市) | 19.1 | 17.7 | 20.4 | 20.1 | 28.7 | 7.1 | 17.4 | 17.8 | 21.7 | 20.0 | 18.7 |
| 6 その他 | 3.3 | 2.6 | 4.0 | 2.0 | 4.5 | 3.2 | 1.4 | 6.9 | 1.1 | 2.5 | 3.6 |
| 7 どれも知らない | 29.9 | 31.6 | 28.4 | 21.5 | 24.7 | 44.2 | 47.8 | 32.7 | 29.3 | 33.8 | 17.3 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

6 得たい情報

問6 あなたは、環境に関してどのような情報を知りたいですか。(回答はいくつでも)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|-----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 大気や水の測定結果 | 51.6 | 51.9 | 51.2 | 60.4 | 49.4 | 45.5 | 42.0 | 48.5 | 46.7 | 52.5 | 61.2 |
| 2 生活の中での環境保全のための工夫や知恵 | 76.7 | 73.6 | 79.6 | 73.2 | 79.8 | 76.6 | 72.5 | 79.2 | 72.8 | 77.5 | 79.1 |
| 3 環境保全活動へ参加したい場合の募集情報 | 30.6 | 32.9 | 28.4 | 31.5 | 37.1 | 22.1 | 27.5 | 30.7 | 28.3 | 23.8 | 37.4 |
| 4 環境学習施設の情報 | 33.7 | 36.4 | 31.2 | 36.2 | 35.4 | 29.2 | 21.7 | 36.6 | 40.2 | 20.0 | 41.0 |
| 5 環境について教える場合のプログラム | 17.0 | 21.2 | 13.2 | 16.1 | 18.5 | 16.2 | 13.0 | 14.9 | 26.1 | 15.0 | 15.8 |
| 6 環境関係団体の活動情報 | 32.0 | 37.2 | 27.2 | 32.9 | 35.4 | 27.3 | 24.6 | 24.8 | 29.3 | 30.0 | 43.9 |
| 7 環境に関する講師情報 | 7.3 | 7.4 | 7.2 | 8.1 | 8.4 | 5.2 | 2.9 | 8.9 | 10.9 | 3.8 | 7.9 |
| 8 その他 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 5.4 | 4.5 | 1.9 | 4.3 | 1.0 | 6.5 | 1.3 | 5.8 |
| 9 知りたい情報はない | 1.9 | 2.2 | 1.6 | 4.0 | 0.0 | 1.9 | 4.3 | 2.0 | 2.2 | 1.3 | 0.7 |
| 10 わからない | 1.7 | 1.7 | 1.6 | 0.7 | 0.6 | 3.9 | 1.4 | 3.0 | 0.0 | 3.8 | 0.7 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

7 情報提供方法

問7 あなたは、愛知県に環境に関してどのような方法での情報提供を期待しますか。

(回答はいくつでも)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 インターネットでの測定数値の提供 | 23.3 | 28.6 | 18.4 | 26.2 | 24.7 | 18.8 | 21.7 | 29.7 | 31.5 | 27.5 | 11.5 |
| 2 インターネットでのイラストや写真を使い分かりやすく解説された情報 | 42.0 | 49.8 | 34.8 | 38.3 | 43.8 | 43.5 | 44.9 | 46.5 | 57.6 | 38.8 | 28.8 |
| 3 調査報告書 | 25.2 | 30.3 | 20.4 | 28.2 | 25.8 | 21.4 | 15.9 | 25.7 | 22.8 | 23.8 | 31.7 |
| 4 イラストなどを多用した分かりやすい小冊子 | 52.4 | 51.9 | 52.8 | 55.7 | 52.2 | 49.4 | 42.0 | 54.5 | 45.7 | 43.8 | 65.5 |
| 5 パンフレット | 45.3 | 45.5 | 45.2 | 46.3 | 46.1 | 43.5 | 30.4 | 52.5 | 33.7 | 38.8 | 59.0 |
| 6 講師による講演会、セミナー | 25.2 | 27.3 | 23.2 | 29.5 | 25.3 | 20.8 | 11.6 | 17.8 | 25.0 | 21.3 | 39.6 |
| 7 自然観察会などの体験型学習会 | 41.4 | 34.2 | 48.0 | 40.3 | 43.3 | 40.3 | 40.6 | 40.6 | 41.3 | 38.8 | 43.9 |
| 8 その他 | 8.9 | 8.7 | 9.2 | 10.1 | 9.6 | 7.1 | 13.0 | 8.9 | 7.6 | 8.8 | 7.9 |
| 9 わからない | 2.5 | 2.6 | 2.4 | 4.0 | 1.7 | 1.9 | 5.8 | 1.0 | 3.3 | 3.8 | 0.7 |
| 無回答 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.0 |

8 環境学習活動への参加状況

問8 あなたは、環境に関する知識や活動方法を学ぶ環境学習活動に参加したことがありますか。または、参加したいと思いますか。(回答は1つ)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 参加したことがある、または参加している | 21.4 | 20.3 | 22.4 | 27.5 | 20.2 | 16.9 | 18.8 | 17.8 | 16.3 | 10.0 | 35.3 |
| 2 これから積極的に参加したい | 4.8 | 5.2 | 4.4 | 2.0 | 7.9 | 3.9 | 4.3 | 4.0 | 3.3 | 10.0 | 3.6 |
| 3 機会があれば参加したい | 47.6 | 47.6 | 47.6 | 49.0 | 42.1 | 52.6 | 44.9 | 51.5 | 48.9 | 51.3 | 43.2 |
| 4 参加したいとは思いますが時間に余裕がないなど、無理である | 16.6 | 17.7 | 15.6 | 12.8 | 20.2 | 16.2 | 15.9 | 16.8 | 26.1 | 15.0 | 11.5 |
| 5 参加したいと思わない | 5.8 | 7.4 | 4.4 | 6.0 | 5.1 | 6.5 | 11.6 | 5.9 | 3.3 | 10.0 | 2.2 |
| 6 その他 | 0.6 | 0.4 | 0.8 | 0.0 | 1.1 | 0.6 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 1.3 | 0.7 |
| 7 わからない | 2.9 | 1.3 | 4.4 | 2.7 | 2.8 | 3.2 | 4.3 | 3.0 | 2.2 | 2.5 | 2.9 |
| 無回答 | 0.2 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 |

9 実施団体の把握

問9 問8で「1 参加したことがある、または参加している」と答えた方にお聞きします。あなたが参加した環境学習活動は、どこが主催（または共催・協賛）したものです。参加した全ての活動についての主催者を選んでください。（回答はいくつでも）

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 103 | 47 | 56 | 41 | 36 | 26 | 13 | 18 | 15 | 8 | 49 |
| 1 国 | 11.7 | 17.0 | 7.1 | 12.2 | 5.6 | 19.2 | 0.0 | 11.1 | 13.3 | 12.5 | 14.3 |
| 2 都道府県 | 30.1 | 42.6 | 19.6 | 29.3 | 30.6 | 30.8 | 0.0 | 22.2 | 40.0 | 12.5 | 40.8 |
| 3 市町村 | 58.3 | 63.8 | 53.6 | 63.4 | 55.6 | 53.8 | 30.8 | 44.4 | 46.7 | 62.5 | 73.5 |
| 4 民間団体（環境NPO等） | 24.3 | 21.3 | 26.8 | 29.3 | 25.0 | 15.4 | 23.1 | 16.7 | 20.0 | 25.0 | 28.6 |
| 5 民間団体（企業や事業者団体等） | 35.9 | 34.0 | 37.5 | 26.8 | 38.9 | 46.2 | 15.4 | 38.9 | 40.0 | 37.5 | 38.8 |
| 6 学校 | 20.4 | 10.6 | 28.6 | 19.5 | 25.0 | 15.4 | 53.8 | 27.8 | 20.0 | 25.0 | 8.2 |
| 7 自治会や町内会 | 22.3 | 21.3 | 23.2 | 12.2 | 25.0 | 34.6 | 7.7 | 22.2 | 33.3 | 25.0 | 22.4 |
| 8 その他 | 5.8 | 8.5 | 3.6 | 2.4 | 5.6 | 11.5 | 7.7 | 11.1 | 6.7 | 0.0 | 4.1 |
| 無回答 | 0.2 | 0.0 | 0.4 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 |

10 重点を置くべき対象

問10 環境学習は、次のうちどこで実施するのが最も効果的だと思いますか。（回答は1つ）

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 県や市町村の施設 | 35.6 | 36.8 | 34.4 | 30.9 | 35.4 | 40.3 | 24.6 | 29.7 | 25.0 | 37.5 | 51.1 |
| 2 企業 | 7.3 | 8.2 | 6.4 | 7.4 | 9.0 | 5.2 | 10.1 | 6.9 | 8.7 | 7.5 | 5.0 |
| 3 学校 | 31.4 | 28.1 | 34.4 | 36.2 | 30.3 | 27.9 | 42.0 | 34.7 | 42.4 | 28.8 | 18.0 |
| 4 自治会や町内会 | 14.6 | 14.3 | 14.8 | 16.8 | 12.9 | 14.3 | 10.1 | 12.9 | 10.9 | 17.5 | 18.7 |
| 5 家庭 | 8.1 | 8.7 | 7.6 | 6.7 | 8.4 | 9.1 | 10.1 | 12.9 | 9.8 | 6.3 | 3.6 |
| 6 その他 | 1.5 | 1.3 | 1.6 | 0.7 | 1.1 | 2.6 | 2.9 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 2.2 |
| 7 わからない | 1.5 | 2.2 | 0.8 | 1.3 | 2.2 | 0.6 | 0.0 | 1.0 | 2.2 | 2.5 | 1.4 |
| 無回答 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 0.0 |

11 重点を置くべき世代

問11 最も力を入れるべき環境学習の対象者は、どの世代だと思いますか。(回答は1つ)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 幼稚園児・保育園児 | 2.5 | 3.9 | 1.2 | 1.3 | 2.8 | 3.2 | 2.9 | 2.0 | 2.2 | 2.5 | 2.9 |
| 2 小学生 | 38.9 | 36.4 | 41.2 | 47.7 | 34.8 | 35.1 | 26.1 | 50.5 | 40.2 | 40.0 | 35.3 |
| 3 中学生 | 15.0 | 17.7 | 12.4 | 11.4 | 18.0 | 14.9 | 11.6 | 7.9 | 12.0 | 17.5 | 22.3 |
| 4 高校生 | 10.2 | 10.8 | 9.6 | 12.1 | 10.7 | 7.8 | 15.9 | 5.0 | 10.9 | 11.3 | 10.1 |
| 5 大学生 | 2.1 | 2.6 | 1.6 | 3.4 | 1.7 | 1.3 | 2.9 | 0.0 | 2.2 | 5.0 | 1.4 |
| 6 成人 | 27.2 | 25.5 | 28.8 | 21.5 | 29.2 | 30.5 | 34.8 | 28.7 | 30.4 | 22.5 | 23.0 |
| 7 60歳以上 | 1.0 | 1.3 | 0.8 | 1.3 | 0.0 | 1.9 | 1.4 | 1.0 | 1.1 | 0.0 | 1.4 |
| 8 その他 | 2.5 | 1.3 | 3.6 | 0.7 | 2.8 | 3.9 | 4.3 | 4.0 | 0.0 | 1.3 | 2.9 |
| 9 わからない | 0.6 | 0.4 | 0.8 | 0.7 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 1.0 | 1.1 | 0.0 | 0.7 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

12 環境学習の効果

問12 環境学習は、特に何のために役に立つと思いますか。(回答は2つ)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|-------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 環境保全活動の取り組みにつなげるため | 32.0 | 34.6 | 29.6 | 35.6 | 30.3 | 30.5 | 29.0 | 32.7 | 31.5 | 36.3 | 30.9 |
| 2 大量に物を生産して、大量にゴミを捨てる生活様式を改めるため | 25.8 | 25.5 | 26.0 | 21.5 | 27.5 | 27.9 | 36.2 | 23.8 | 19.6 | 33.8 | 21.6 |
| 3 資源を節約した生活を身につけるため | 34.9 | 35.1 | 34.8 | 33.6 | 37.1 | 33.8 | 34.8 | 34.7 | 34.8 | 28.8 | 38.8 |
| 4 環境問題について、なにが正しい情報か知るため | 28.9 | 28.6 | 29.2 | 33.6 | 26.4 | 27.3 | 24.6 | 30.7 | 31.5 | 23.8 | 30.9 |
| 5 環境に配慮した製品やサービスを選ぶため | 8.3 | 8.7 | 8.0 | 10.1 | 9.6 | 5.2 | 7.2 | 3.0 | 12.0 | 12.5 | 7.9 |
| 6 環境に関わる情報を分かりやすく学ぶため | 10.6 | 12.6 | 8.8 | 12.1 | 10.7 | 9.1 | 14.5 | 13.9 | 13.0 | 3.8 | 8.6 |
| 7 ごみの分別と、正しい捨て方を学ぶため | 6.4 | 4.3 | 8.4 | 5.4 | 3.9 | 10.4 | 14.5 | 6.9 | 4.3 | 6.3 | 3.6 |
| 8 次世代を担う子どもが、環境保全について理解を深めるために必要なため | 47.2 | 45.5 | 48.8 | 45.6 | 47.2 | 48.7 | 30.4 | 49.5 | 44.6 | 50.0 | 54.0 |
| 9 その他 | 1.9 | 1.3 | 2.4 | 0.7 | 2.8 | 1.9 | 1.4 | 1.0 | 4.3 | 0.0 | 2.2 |
| 10 わからない | 0.2 | 0.0 | 0.4 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 無回答 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

13 問題点の把握

問13 あなたが環境学習に取り組もうとする際、特に何が問題だと思えますか。(回答は2つ)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 研修の機会が少ない | 28.5 | 28.6 | 28.4 | 32.2 | 26.4 | 27.3 | 29.0 | 23.8 | 25.0 | 21.3 | 38.1 |
| 2 環境問題を理解することが難しい | 18.3 | 17.3 | 19.2 | 10.1 | 21.3 | 22.7 | 18.8 | 15.8 | 17.4 | 22.5 | 18.0 |
| 3 具体的な活動に結びつけるのが難しい | 60.3 | 58.4 | 62.0 | 59.7 | 66.3 | 53.9 | 56.5 | 63.4 | 55.4 | 58.8 | 64.0 |
| 4 適切な教材がない | 13.3 | 16.0 | 10.8 | 17.4 | 10.1 | 13.0 | 10.1 | 15.8 | 12.0 | 12.5 | 14.4 |
| 5 関連情報の収集方法がわからない | 16.2 | 13.9 | 18.4 | 16.1 | 14.0 | 18.8 | 11.6 | 13.9 | 17.4 | 21.3 | 16.5 |
| 6 費用がかかる | 10.6 | 11.7 | 9.6 | 11.4 | 10.1 | 10.4 | 15.9 | 12.9 | 7.6 | 6.3 | 10.8 |
| 7 取り上げるテーマがわからない | 4.6 | 4.8 | 4.4 | 6.0 | 5.1 | 2.6 | 0.0 | 6.9 | 3.3 | 5.0 | 5.8 |
| 8 時間の確保が困難である | 27.0 | 27.3 | 26.8 | 24.2 | 29.8 | 26.6 | 33.3 | 26.7 | 33.7 | 30.0 | 18.0 |
| 9 その他 | 4.4 | 6.1 | 2.8 | 4.7 | 4.5 | 3.9 | 7.2 | 4.0 | 6.5 | 3.8 | 2.2 |
| 10 特に問題点はない | 4.4 | 3.9 | 4.8 | 4.7 | 2.8 | 5.8 | 4.3 | 3.0 | 6.5 | 2.5 | 5.0 |
| 11 わからない | 1.7 | 1.3 | 2.0 | 1.3 | 1.1 | 2.6 | 0.0 | 3.0 | 1.1 | 3.8 | 0.7 |
| 無回答 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 |

14 今後の取組み

問14 今後、愛知県が環境学習を推進するためには、どのようなことが最も必要だと思いますか。

(回答は1つ)

| | 全体 | 男性 | 女性 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
|---------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総数 | 481 | 231 | 250 | 149 | 178 | 154 | 69 | 101 | 92 | 80 | 139 |
| 1 環境学習の基礎となる環境情報の収集・発信 | 39.3 | 32.5 | 45.6 | 37.6 | 32.0 | 49.4 | 39.1 | 48.5 | 37.0 | 37.5 | 35.3 |
| 2 環境学習プログラムの作成と活用 | 10.8 | 12.1 | 9.6 | 7.4 | 15.2 | 9.1 | 13.0 | 9.9 | 10.9 | 11.3 | 10.1 |
| 3 環境学習を指導する人材の養成 | 17.7 | 20.8 | 14.8 | 20.1 | 19.1 | 13.6 | 13.0 | 9.9 | 17.4 | 23.8 | 22.3 |
| 4 県内各地の環境施設やNPOとのネットワーク作り | 9.1 | 8.2 | 10.0 | 9.4 | 9.6 | 8.4 | 10.1 | 7.9 | 9.8 | 7.5 | 10.1 |
| 5 環境学習の拠点機能を担う施設の整備、強化 | 15.6 | 18.6 | 12.8 | 16.8 | 16.3 | 13.6 | 18.8 | 14.9 | 15.2 | 10.0 | 18.0 |
| 6 その他 | 3.3 | 3.0 | 3.6 | 2.7 | 5.1 | 1.9 | 2.9 | 4.0 | 5.4 | 3.8 | 1.4 |
| 7 わからない | 2.7 | 3.0 | 2.4 | 4.0 | 1.7 | 2.6 | 1.4 | 3.0 | 3.3 | 5.0 | 1.4 |
| 無回答 | 1.5 | 1.7 | 1.2 | 2.0 | 1.1 | 1.3 | 1.4 | 2.0 | 1.1 | 1.3 | 1.4 |

平成22年度第4回県政モニターアンケート報告書

「 環 境 学 習 」
平 成 2 2 年 1 2 月 発 行
愛 知 県 知 事 政 策 局 広 報 広 聴 課
名 古 屋 市 中 区 三 の 丸 三 丁 目 1 番 2 号
電 話 (0 5 2) 9 5 4 - 6 1 6 9 (ダ イ ヤ ル イ ン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

